

ODU

大阪歯科大学広報

NEWS

No. 174

June.2015

OSAKA
DENTAL
UNIVERSITY



平成27年度

大阪歯科大学・大学院 入学式



Contents

| | | | |
|----|---|----|--------------------------|
| 02 | 平成 27 年度 大学・大学院入学式 ・学長訓辞 学長 川添 堯彬 ・理事長式辞 理事長 川添 堯彬 | 09 | 平成 26 年度 事業報告 |
| 04 | 平成 27 年度 専門学校入学式 | 23 | 平成 26 年度 監事監査報告 |
| 04 | 平成 27 年 春の褒章・叙勲受章者 | 24 | 平成 26 年度 決算報告 |
| 05 | ODU ソーシャルコミュニティ | 27 | 平成 26 年度 学術研究奨励助成金(大学院生) |
| 06 | 国際交流 ・【協定校学生受入】コロンビア大学歯学部 | 27 | 人事 |
| 06 | 認証評価 ・歯学教育認証評価トライアル評価結果を受領 | 33 | 平成 28 年度 大学入学試験日程 |
| 07 | 行事報告 ・平成 27 年度 歯科医師臨床研修研修歯科医登院式 ・平成 27 年度 附属病院 病院医員辞令交付式 ・平成 27 年度 第 5 学年登院式 ・平成 27 年度 研修歯科医に対する薬物乱用防止講習会 ・平成 27 年度 大阪歯科大学臨床准教授等辞令交付式 及び臨床研修管理運営委員会 ・平成 27 年度 大阪府看護事業功労者表彰式 ・平成 27 年度 解剖体慰霊祭 ・平成 27 年度 第 4 回院内感染対策講習会 ・平成 27 年度 父兄会・共済会総会 | 33 | あとがき |



平成 27 年度 大学・大学院入学式

平成 27 年 4 月 3 日（金）、平成 27 年度 大阪歯科大学・大学院の入学式が執り行われました。曇り空という天候でしたが、どの新生生の顔も、晴天のように生き生きとしていました。国歌斉唱のあとの入学生点呼では、新生生の元気に満ちた返事が講堂に響きわたりました。学長訓辞、理事長式辞を拝聴する姿も緊張している様子が見受けられるものの、初々しく、これから始まる大学・大学院での学生生活への期待と可能性、エネルギーに満ち満ちていました。



学長訓辞

学長 川添 堯彬



今年の春の到来は、昨年に比べてさらに早いようであります。すでに桜の花は方々で満開に近く入学生の皆さんを一層祝福しているようであります。

本日、大学入学生・大学院入学生にとって、ともにこの日が新しい環境へ入るとき、社会へ向けての決意と誓いのときであり、新たなスタート地点であります。先ほど来、点呼におきまして、呼ばれた場合に「はい」という元気のよい声をした人、これはきょう 1 日の 1 つの決意を立派に済まされたということで、本人の態度に敬意を表します。また、元気のよい返事をした人が、例年よりも今年は多いような気がいたします。

また、入学生のご父兄・保護者の方々、ご家族の方々にとりましても、きょうの日が、期待と願いを込めた始まりのときであると胸に刻んでおられることと拝察いたします。

まず、入学者 128 名と編入学者 9 名の諸君に申します。最近の風潮かもしれませんが、一部新生生の中には、入学できただけでこのまま時がたてば DDS の

資格、すなわち歯科医師になれるとのんびりしてしまう学生がおります。これは大きな間違いであります。これからの長い学生生活を勉学及び履修に努め、進級して 6 年後の国家試験に合格しなければなりません。これはかなり厳しい道のりでもあります。しかし、全員の方が、この過程を越えてもらわなければなりません。そこで、私は、皆さんのモチベーションを高め、これを持続させるために、次の 3 つのステップの概念をぜひ実行していただきたいと思ひます。

1 つ目は、新生生全員が、まず将来の志、または目標を描いて持つてほしいということであります。この段階で、めいめいの卒業後の自分について、できるだけ大きな志、目標が望ましいと思ひます。

そして 2 つ目のステップでは、そのために必ずこれから 6 年で、編入学者の方は 5 年ですけれども、歯科医師 DDS 合格するのだという決意、決心をこの年に、この 1 年に胸にまず刻んでいただきたいのであります。

そして 3 つ目は、これからは、進級と国家試験に合格できるための学習を第一優先として、いちずに学習に邁進してください。そうすれば全員が、卒業でき、国家試験にも合格して、皆さん方それぞれの以後の人生が大きく開けるであります。夢の実現にもずっと近づくことでありましよう。ぜひこの心構えで 6 年間を進んでほしいと願っています。

さて、大学院に入学された 24 名の、もう歯科医師の皆さんですけれども、本日はまことにおめでとうございませう。皆さん方は、義務化された 1 年間の臨床

研修を修了され、その上で難関な試験にも見事に合格された精鋭ぞろいであると言っても過言ではありません。また、ご父兄・保護者の皆様方におかれましても、ご子弟の晴れ姿を目の前にされ、その感慨もひとしおのことと拝察申し上げます。反面、これからの 4 年間、経済的にも大きな試練が続くことにもなり、その胸中は複雑な思ひが去来していることとお察し申します。

私はここで大学院生の皆さんには、吉田松陰の士規七則の教えを贈ります。

幕末の日本において、多くの明治維新の立て役者、久坂玄瑞・高杉晋作・伊藤博文・坂本竜馬などの師匠としても名高い吉田松陰の教えを、私たちは著作「士規七則」において学ぶことができます。この七則と申しますのは、

一、人が人である為の基本は忠と孝、すなわち誠実である。

二、忠孝一致、君臣一体が人の道の理想である。

三、義の大切さ。勇によって行われ、勇は義によって育てられる。

四、公明正大、万事に対して誠実でないといけな、質朴・実直で誠実に輪生を捉えなければいけない。

五、読書をして、故人を先生とし、或いは友とする。このことが大切であり、どのような偉大な人でも我が師、我が友とすることができる。

六、良き師と良き友は人生の宝である。良き師は指導を仰ぎ、良き友には共に切磋琢磨する人生の方向性を決める、良き仲間として大切な時を競争することがで

きる。

七、堅忍果決、一旦決めたことはどこまでも守り通すこと。まさに全ての事に対して、何事においても動じないものとならなければならない。

以上の七則であります。少し時間を端折ってこの内の3つだけを要約いたしますと、①志を立てることを万事の原則と原点とすべし、②友を選ぶ事はお互いに切磋琢磨する上で必要不可欠なものである、③読書することによって、古の聖人、あるいは偉大な故人を師とも、友とすることもできる。そこから多くのことを今現在にあっても、これからであっても学ぶことができる。

この「士規七則」あるいは要約した3つの言葉、これを本日大学院に入られた方、あるいは新入学生・編入学生の皆さんへの私からの祝詞として、また学長の訓辞といたします。



理事長式辞

理事長 川添 堯彬

本日、大学並びに大学院に入学されたそれぞれ137名と24名の方々、両方の皆さんにこの式辞を送りたいと思います。

本学は、1911年、明治44年に創立され今年で104年目になります。

三昨年11月には、その100周年記念のいろいろな行事を執り行いました。一万数千の卒業生を輩出しております。本学は、そういった長い伝統に支えられた大学であります。あなた方も、きょうから我々とともに諸先輩の築かれた大学愛、母校愛、そして同窓としてのきずなを汚すことなく受け継いでいくわけでござ

います。

本学の創設者であります藤原市太郎先生は、明治44年12月12日にある思いを抱いてこの学校を創立されました。その当時、日露戦争が終結して間もないころで、まだ世の中は騒然とし、社会は経済的にも緊縮状態であったと思われま

す。その中であって、藤原市太郎先生は、この大学を現在の大阪市福島区野田4丁目に創立されたわけでありま

す。その思いとは、「学校経営事業は営利に非ず、博愛公益のために努力するものなること」。この言葉が、初代の理事長でありました古川賢治先生に申し伝えられ、この言葉だけはぜひとも将来に受け継いでいってほしいとの願いをもってバトンを渡された、大変尊い、また貴重で崇高な本学の建学の精神であります。

そして私は、この100周年の記念事業の中で発見したのは、100年たってもこの言葉はこれほど輝いて、またこれほど有益で私たち学ぶ者の心を勇気づけてくれる言葉はないのではないかと。この言葉は、世界の国々、欧米先進国やアジア諸国のみならず、全世界のどの国に行っても胸を張って通じるスピリットではないかと誇りに思います。

マザー・テレサの象徴ともなっております博愛の精神を思い出すまでもなく、



これは本学に脈々と続いていることを実感するわけでありま

す。どうか皆さんも、この精神を少しでも実践に向けて活動するとともに、究極の目標として胸に刻印され、また後輩にもこのスピリットを引き継いでいっていただきたいと思っております。

この言葉は、まさに学部学生諸君にとりましても、大学院生諸氏にとりましても、

も、時や国を越えて通じるものであると思います。これほど崇高で誇れる言葉はほかにありま

しょうか。私たちは、これをとてもすぐには達成できないかもしれませんが、少しでもその方向へ進む志を持ちたいと願っているわけでありま

す。この我が校の誇れる建学の精神を、今私も大切に守り続けたいと強く肝に銘じているところであります。皆さん方もどうかお忘れのないように進んでいただきたいと思

います。

以上、理事長の式辞といたします。



|| 平成 27 年度 専門学校入学式

平成 27 年 4 月 7 日（火）、平成 27 年度大阪歯科大学歯科技工士専門学校ならびに歯科衛生士専門学校の入学式が行われました。桜の花びらが敷き詰められた道を歯科技工士学科 12 名、歯科技工士専攻科 5 名、歯科衛生士学科 50 名が希望と意欲を胸に歩き、新しく大阪歯科大学の門をくぐりました。

学校長訓辞として、末瀬一彦校長からは、経験的なアナログの要素とコンピュータを駆使したデジタル技工のコラボレーションによる歯科医療が提供されていること、歯科医師・歯科衛生士とのチームアプローチが実践でき、誠実で実行力のある歯科技工士が育成されていることが学校の特徴として紹介されました。また、アメリカの元バスケットボール選手であるマイケル・ジョーダン氏の言葉とともに、新入生の皆さんが誰にもできない努力で常に高い目標・高い志を持ち果敢に攻め続けることが期待されました。

小出武校長からは、歯科衛生士への道は厳しいが、それは病が癒え安堵する患者の方々の感謝の気持ちに触れ、ともに

喜びあえる幸福感、満足感を得られる素晴らしい職業であることが述べられました。

また、歯科衛生のプロフェッショナルを目指すこと、コミュニケーション力をつけること、患者を人間（ひと）として理解することの三つのことがらが三年間で目指すべきこととして示されました。

当日はたくさんのご来賓とご家族の方々の出席があり、厳粛な雰囲気の中で、式が進行されました。



|| 平成 27 年 春の褒章・叙勲受章者

平成 27 年春の褒章・叙勲において、大阪歯科大学関係者として、以下の先生方が受章されました。

褒章

大学 25 回 釜谷 隆秋 兵庫県 藍綬褒章

叙勲

| | | | | | | | |
|---------|-------|-----|-------|---------|-------|------|-------|
| 大学 1 回 | 山本 直哉 | 滋賀県 | 瑞宝双光章 | 大学 14 回 | 村上 浩治 | 和歌山県 | 瑞宝双光章 |
| 大学 11 回 | 羽生 哲也 | 福岡県 | 瑞宝小綬章 | 大学 17 回 | 片瀬 教夫 | 長崎県 | 旭日双光章 |
| 大学 12 回 | 橋本 猛伸 | 兵庫県 | 旭日小綬章 | | | | |

|| ODU ソーシャルコミュニティ



平成 27 年度より、第 1～第 4 学年を対象とした【ODU ソーシャルコミュニティ】というカリキュラムを開始しました。

本カリキュラムの目的は、「本学学生と地域社会との結びつきを強化し、態度教育の一環として、奉仕活動を通じて社会人基礎力を育む」ことにあります。近年、社会が歯科医師に求めているのは、優れた技術のみではなく、患者さんへの思いやりや温かな心を持った、細やかな配慮ができる歯科医師です。こうした状況を踏まえて、本カリキュラムは設定されました。

実施内容は、「環境美化事業『枚方市アダプトプログラム』」に登録して、①楠葉学舎の周辺歩道での空き缶・吸い殻・落ち葉・雑草などの散乱ごみの清掃・集積、および②通行人への挨拶の励行としており、毎朝 8 時に集合し、学生と教職員合わせて 15 名程度で 30 分間の活動を行っています。川添堯彬学長や田中昌博学生部長も、楠葉学舎在勤の際は、学生と共に汗を流しています。

地域住民の方からは「ご苦労様です」「ありがとうございます」などの声をいただいております、それを励みに、今後もカリキュラムを進めてまいります。



|| 国際交流

学生短期海外研修 コロンビア大学歯学部 2014.4.6～10

研修では、川添理事長・学長との懇談に始まり、楠葉学舎内の施設見学や附属病院の見学を行い、英語での特別講義を実施しました。また、一般開業医診療所の見学として河村歯科医院を訪問しました。

国際交流部主催のウェルカムパーティーでは本学学生も参加し、互いに親交を深めました。



|| 認証評価

歯学教育認証評価トライアルの評価結果を受領しました。

本学は平成26年度に、第三者による分野別評価・歯学教育認証評価トライアルを受審し、平成27年6月2日付けで評価結果「大阪歯科大学評価書・歯学教育認証評価評価書」を受領しました。

このトライアルは、文部科学省大学改革推進等補助金「歯学教育認証制度等の実施に関する調査研究」（我が国の歯科大学における歯科医師養成の教育内容が国際標準と比較して遜色のない水準にあることを証明するため、歯学教育認証評価制度の構築、創設を目的とする。）の平成26年度事業として実施されたもので、九州歯科大学と本学が全国29歯科大学の中で最初のトライアル大学に選ばれ、自学の歯学教育に関する評価を受けました。

「自己点検・評価書」の提出と本学への現地調査を基にまとめられた今回の結果において、本学は七つの評価基準（①教育の理念及び目標、②学生の受け入れ、③歯学教育課程の内容・方法・環境、④患者への配慮と臨床能力の確保、⑤成績評価と卒業認定、⑥教員組織、⑦点検・評価）すべてに「優れた点」を有しているとの評価をいただきました。と同時に、「さらなる向上が期待される点」や「改善と必要とする点」などいくつかの助言、提言も与えられています。

本学はこのたびの評価結果を真摯に受け止め、今後ますます「優れた点」を伸ばしていくとともに、全学をあげて歯学教育のさらなる改善・充実に取り組んでまいります。

|| 行事報告

4/1 (水)

附属病院 平成 27 年度 歯科医師臨床研修 研修歯科医登院式

10:00

川添堯彬理事長・学長より、第 108 回歯科医師国家試験に合格し、研修歯科医となった 88 名に対して祝辞が贈られた。

覚道健治病院長は、訓辞をされ、当院の病院理念について述べられた。



4/1 (水)

附属病院 平成 27 年度 大阪歯科大学附属病院 病院医員辞令交付式

11:00



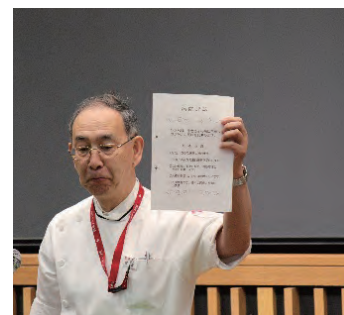
副病院長、各科診療科長が臨席され、覚道健治病院長より 64 名の病院医員に対して、辞令を交付した。

4/2 (木)

附属病院 平成 27 年度 第 5 学年登院式

9:00

川添堯彬理事長・学長よりご挨拶をいただき、覚道健治病院長より臨床実習生の心構え等について述べられた。第 5 学年の 130 名は、心新たに天満橋学舎において、歯科医学生としての知識をもとに臨床を体験し、一層理解を深め学業の集大成を行うことになった。



4 / 20 (月)
10 : 30

附属病院 **平成 27 年度 研修歯科医に対する薬物乱用防止講習会について**

演題：薬物に対する正しい知識

講師：小川 浩一 警部（大阪府警察本部刑事部薬物対策課薬物対策担当補佐）

ビデオ講習では、薬物乱用の常習化と危険性について描いたドラマと、巧妙な手口により薬物の運び屋に仕立て上げられ、刑罰を受けた再現ドラマを通じて、事例報告があった。また、講師から薬物の種類、社会での流通や摘発等の実情について報告があり、自身のみならず他人も傷つけてしまう恐ろしさについても説明があった。

研修歯科医は、全員の 88 名が受講した。



4 / 23 (木)
17 : 30

附属病院 **平成 27 年度 大阪歯科大学臨床准教授等辞令交付式及び臨床研修管理運営委員会（受入施設部会）**

川添堯彬理事長・学長より、出席された臨床准教授及び臨床講師に対して辞令が交付され、ご挨拶と研修歯科医の研修指導、連携に対して謝辞が述べられました。

辞令交付式終了後、本年度研修歯科医を受け入れる協力型施設研修実施責任者等に対して、覚道健治病院長より、ご挨拶があり、協力型施設の指導歯科医の本学図書館の利用案内を行った後、各研修責任者より歯科医師臨床研修に係る説明を実施しました。



5 / 9 (土)
10 : 30

附属病院 **平成 27 年度 大阪府看護事業功労者表彰式**

看護師 中塚美智子主任が、標題の表彰をされました。長年にわたり看護業務に携り、病棟に関わる医師、歯科医師及び看護師の教育も担当し安全・安心な医療の提供に尽力されました。また、常に患者様へ快適な看護を提供することを心掛け、看護の質向上を研究する姿勢を貫いてきたことが認められました。



5 / 15 (金)
14 : 00

大学行事 **平成 27 年度 解剖体慰霊祭**

穏やかな天候に恵まれ、ご遺族、ご来賓、黄菊会会員及び教職員、第 2・3 学年の学生、専門学校生の約 500 名が参列し、歯科医学教育のためご遺体を献体賜りました皆様の御霊に対しご冥福をお祈りいたしました。

慰霊祭は、四天王寺御坊の読経と参列者全員によるご焼香によりご冥福をお祈すると共に、諏訪文彦名誉教授の祭文、川添堯彬理事長・学長の挨拶により、献体賜りました皆様の篤志と、それをご同意いただいたご遺族への感謝の気持ちをお伝えし、質の高い歯科医師の養成を实践してまいりますとの慰霊の詞が述べられました。

また、学生を代表し 3 年生の皆川 咲佳さんから解剖実習を通じて得た精神面での成長と、献体賜りました皆様の篤志に応えるためにも、より良い歯科医師を目指し精進することを誓った感謝の言葉が贈られました。

最後に、献体賜りました皆様と、そのご遺族並びに黄菊会会員の皆様に向かって、学生全員による感謝の一礼を以て解剖体慰霊祭は終了いたしました。

6/11 (木) 附属病院 平成 27 年度 第 4 回院内感染対策講習会

16:00 演題：歯科領域にも役立つ院内感染対策の基礎知識
講師：掛屋 弘教授（大阪市立大学大学院 感染制御学）
出席者数：教職員：179 名（第 5 学年学生：124 名 / 129 名）

掛屋教授が大阪市立大学へ赴任してすぐ最初の洗礼を受けたのは、母校の長崎大学でアウトブレイクを起こした MDRP（多剤耐性緑膿菌）であった。掛屋教授が最初に行ったのは現場を確認することであった。MDRP が恒常的に発生していた A 病棟を視察したとき、現場には多くの問題があり、当時のトイレの手洗い装置から検出された MDRP の遺伝子解析結果は、患者から検出した MDRP と遺伝子レベルで一致した。手洗い装置のハンドルをセンサー式に変更したことで、感染の連鎖は断ち切られたのである。

講習会開始前、掛屋教授による院内ラウンドが行われ、当初予定していた中央手術室と中央滅菌材料室に加え、病棟ラウンドを掛屋教授の申し出により追加実施していただいた。

なお、本日の講演は、サテライト方式で中講義室に中継され、第 5 学年の臨床実習生が聴講した。最後に森田副病院長より掛屋教授のすばらしいご講演に感謝の言葉が述べられた。



6/27 (土) 大学行事 平成 27 年度 父兄会・共済会総会

13:00 総会には約 300 名の父母が参加され、初めに新旧父兄会幹事長、川添理事長・学長の挨拶、学内報告、学業評価方法他 CBT、OSCE、卒後研修の解説が行われ、引き続き議事に移り、父兄会・共済会の新役員、平成 26 年度父兄会・共済会の決算並びに平成 27 年度予算が報告され承認されました。

総会終了後、各学年の講義室において学年別個人懇談会が開催され学年指導教授・助言教員等と学業面、生活面について熱心に懇談されました。

|| 平成 26 年度 事業報告

はじめに

大阪歯科大学の建学の精神は、「歯科医学・医療に関する専門知識、技術の習得と共に、思いやりの心を涵養し、自らの選んだ道に深い使命感をもって、社会に対する奉仕的人生観を体得して、「博愛」と「公益」に努める。」というものである。

平成 26 年度は、従来からの磐石な体制を踏まえ、教育、研究、診療、管理運営に関する諸改革を推進した。

学部において三つの入学試験制度を創設した。すなわち一般入試における成績上位者への授業料減免、大学入試センター試験の導入、東京会場の新設である。この結果、受験生の増加により実質の入試倍率が 2.95 倍にまで上昇した。また、新カリキュラム導入 3 年目であり、前年度に引き続き成績判定の厳格化を行い、学修指導の徹底を図った。歯科医師国家試験については、第 6 学年への徹底した教育指導により、現役受験生の合格率は良好な成績を上げた。

大学院については、海外提携校からの外国人院生の受け入れを実施するとともに、修士課程の設置と募集開始の最終段階を迎えた。

国際交流については、四川大学華西口腔医学院主催サマーキャンプ、上海交通大学口腔医学院、オーストラリア・シドニー大学歯学部への本学学生による短期海外研修を行った。さらに、コロンビア大学歯学部、上海交通大学、南方医科大学口腔医学院、台北医学大学口腔医学院、シドニー大学学生の研修訪問受け入れを行った。

附属病院については、土曜日開院が 2 年目を迎え今後の収入改善へ向けてのさらなる検討が望まれる。

歯科技工士・歯科衛生士両専門学校については、半世紀の歴史と実績のうえで新たな改革への取り組みが進行中である。

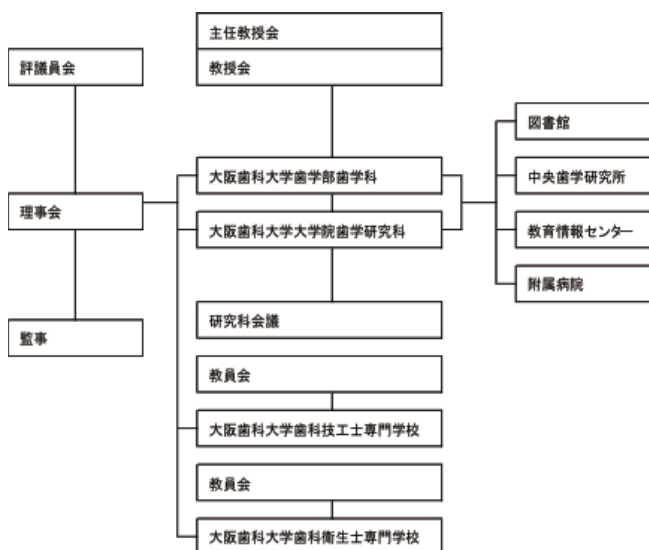
平成 26 年度は、本学にとって 2 回目となる大学基準協会の認証評価を受審し、学内各部署の全面的な努力により平成 27 年 3 月に大学基準に適合するとの認定を受領した。さらに、文部科学省大学改革推進事業である歯学教育認証評価制度創設に係るトライアル校に選定され、この二つの認証評価活動を通じ、国際的に通用する内部質保証の充実を図った。

平成 26 年度は、本学の重点目標である「五つの力の目標」(募

集ブランド力の向上、学力の向上、教育力の向上、人間性涵養力への注力、教員人材育成力への注力)及び「三つの力の追加目標」(学生の国際交流力増強、大学院力の増強、研究力の向上)の本学の「八策」の達成に向け大いに前進した年度であった。

学校法人大阪歯科大学は、大学歯学部、大学院歯学研究科、歯科技工士専門学校、歯科衛生士専門学校を擁する歯科医学総合学園として、今後も「八策」達成に向けてさらなる発展充実を図っていくものである。

学校法人大阪歯科大学組織図



大阪歯科大学は、教育基本法の規定する教育の一般的な目的と方針に則り、歯学に関する学術を中心として、広く知識を授けるとともに、深く専門の領野における学理技術を教授研究し、歯科医師として必要な知的道徳的及び応用的能力を展開させることを目的としている。

大阪歯科大学大学院歯学研究科は、大学院生に歯学に関する学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥を究めて文化の進展に寄与するとともに、大学院生を当該専攻分野に関する高度の研究指導者に養成することを目的としている。

大阪歯科大学歯科技工士専門学校は、歯科技工士として必要な知識と技術を修得せしめるとともに、更に高度な技術の向上を図ることを目的としている。

大阪歯科大学歯科衛生士専門学校は、歯科衛生士として必要な知識と技術を修得せしめるとともに教養の向上を図ることを目的としている。

本学の沿革

| | |
|------------------|--------------------------|
| 1911 (明治44)年 12月 | 大阪歯科医学校 創設 |
| 1912 (明治45)年 1月 | 大阪歯科医学校 開校 (14日創立記念日) |
| 1913 (大正2)年 10月 | 附属医院 開設 |
| 1915 (大正4)年 7月 | 大阪市南区木津大国町 (現浪速区敷津西) に移転 |

| | |
|------------------|--|
| 1916 (大正5)年 7月 | 屋間部2年制の本科設置 大阪市東成郡生野村 (現生野区勝山南) に移転 |
| 1917 (大正6)年 9月 | 大阪歯科医学専門学校 設立 |
| 1919 (大正8)年 1月 | 附属医院 新築 |
| 1929 (昭和4)年 7月 | 牧野学舎 竣工 |
| 1935 (昭和10)年 10月 | 天満橋附属医院 竣工 |
| 1939 (昭和14)年 1月 | 大阪歯科技工学校を吸収 |
| 1947 (昭和22)年 6月 | 大阪歯科大学 (旧制) へ昇格 (18日昇格記念日) |
| 1947 (昭和22)年 8月 | 大阪歯科大学 (旧制) の予科設立 |
| 1949 (昭和24)年 4月 | 大阪歯科大学 (旧制) 歯学部開設 |
| 1951 (昭和26)年 3月 | 学校法人大阪歯科大学へ組織変更 |
| 1952 (昭和27)年 4月 | 大阪歯科大学 (新制) 歯学部設置認可 |
| 1955 (昭和30)年 4月 | 大阪歯科大学 (新制) 進学課程設置 |
| 1961 (昭和36)年 4月 | 大学院歯学研究科 (博士課程) 設置 |
| 1964 (昭和39)年 4月 | 附属歯科技工士養成所開設 (現大阪歯科大学歯科技工士専門学校) |
| 1968 (昭和43)年 5月 | 附属歯科衛生士学校設置 (現大阪歯科大学歯科衛生士専門学校) |
| 1997 (平成9)年 4月 | 楠葉新学舎へ移転・天満橋学舎附属病院新築 (牧野学舎と合わせ3キャンパス体制となる) |
| 2001 (平成13)年 6月 | 大阪歯科大学創立90周年記念式典挙行 |
| 2011 (平成23)年 11月 | 創立100周年記念式典挙行 |
| 2013 (平成25)年 3月 | 創立100周年記念館 竣工 |

----- 平成26年度事業報告 -----

平成26年度の本学事業について、項目ごとにその概要を記載する。

- I . 教学 (学部教育) の改革
- II . 大学院の改革
- III . 教員人材の整備等
- IV . 附属病院の財務改革
- V . 歯科技工士・歯科衛生士両専門学校の改革

I . 教学 (学部教育) の改革

1. 歯学部入試倍率の増加への取り組み

オープンキャンパスは、6月、7月、8月、11月の計4回開催され、延べ参加人数は、412名 (うち、学生195名) であり、過去最高の参加者となった。当日のプログラムは、入試概要説明、在学生による学生生活の説明、学内食堂利用体験、学内施設見学、実習体験、個別相談会を実施した。

また、8月には初めての試みとして、本学附属病院にて個別受験相談会と病院見学会を実施し好評であった。

本学教員による指定校への高校訪問、大学祭期間中の入試相談会、高校生向け進学ガイダンス「夢ナビライブ」での出前講義などで入試広報に努めた。

平成27年実施の入学試験 (平成27年度入学試験) は、三つの新制度を導入した。

まず、学費に関するもので、一般入試受験者のうち、成績上位者25名について、入学初年度の授業料等を全額 (515万円)

免除する制度である。

次に、大学入試センター試験利用入試制度である。これは、前期（1月）と後期（3月）に実施するものである。（一般入試前期・後期と併願が可能である。）

さらに、受験機会の複数化として、一般入試（前期日程）において、東京会場（東京都品川区 TOC ビル）の新設である。

これらの取り組みの結果、募集人員 128 名に対する実質競争倍率は、2 倍を超え（2.95 倍）、平成 27 年度新入生 128 名を過不足なく確保した。

平成 23 年度から開始した編入学試験は、27 年度は 9 名が第 2 学年へ編入することとなった。

2. 第 108 回歯科医師国家試験結果

新卒者は 93 名受験し、合格者は 72 名で合格率は 77.4% であり、前回第 107 回より 1.9 ポイント上昇した。新卒者の私立歯科大学・歯学部合格率は、69.1% で、8.3 ポイント上回った。（国公私立を含む合格率は 73% で、本学はこれより 4.4 ポイント上回った。）

今回の結果は、私立の中で 5 本の指に入る成績であり、第 6 学年に対するきめ細かい教育指導の表れである。

教育アドバイザー、特別アドバイザー及び助言教員、ティーチング・アシスタント（TA）により学生の状況を的確に把握して、データに基づく徹底した個人指導により、学生のモチベーションを高めた結果である。このような地道な取り組みを一層推進していくものである。

3. 新カリキュラムの進行と検証

1) 大学学則改正及び学業成績評価に関する規程の制定

平成 24 年度第 1 学年から新カリキュラムが進行し、学年進行は、3 学年分が新カリキュラムとなった。これについては、次の 11 のコースを基本構成として教育を行った。

①態度教育、②教養教育、③語学・情報科学教育、④基礎科学教育、⑤基礎系歯科医学教育、⑥社会系歯科医学教育、⑦臨床系歯科医学教育、⑧総合医学系教育、⑨第 1～4 学年歯科医学統合教育、⑩歯科臨床教育、⑪歯科医学統括教育

教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）に基づき、学修が行われている。

卒業の認定・学位の授与の要件は厳格であり、

- (1) 総括講義の出席条件を満たす者（受講しなければならない講義数の 80% 以上出席を要件）
 - (2) 本学が指定する 3 回の特別試験すべての受験者
 - (3) 学士試験 2 の合格者
 - (4) 本学に 6 年以上在学して 254 単位を修得、学士試験に合格し、2 月に開催する報告会（歯科医師国家試験に関して本学で開催する報告会）に出席して歯科医師国家試験の自己解答を提出した者
- となっている。

平成 26 年度の大学基準協会認証評価において、大学学則等の関係規程の中に、新カリキュラムに対応した教育課程や卒業

要件単位数が規定されていないとの指摘を受け、即時改正に着手し、平成 27 年 4 月 1 日付け改正を文部科学省へ届け出た。

また、平成 27 年 3 月、「大阪歯科大学学業成績評価に関する規程」を制定した。この規程中の内容は、従来から各学年のシラバスに年間の授業日程、各教科科目の内容、教科書、参考図書、講義担当者、到達目標、行動目標、成績評価方法、試験の日程として記載し、学生に周知しているもので、学生の日々の自学自修の重要な手引きとなっている。

このように、新カリキュラムの進行とともに、このたびの認証評価に関する自己点検・評価活動を通じて、是正すべきことは速やかに見直しを行う内部質保証体制を積極的に推進していくものである。

2) 新カリキュラム（第 1 学年～第 3 学年）について

第 1 学年における初年次教育としては、推薦入試合格者には入学式までの間にスクーリングを 2 回実施した。また、新入生全員に基礎学力試験（英語、数学、物理学、化学、生物学）の受験と、9 月の前期試験で特に学習が必要な科目のある学生には補習授業（英語、理科、数学）を行った。第 2 学年への編入学試験合格者には、入念な入学前教育を行うことにより、歯学部以外の出身者や社会人の学習意欲の向上を図った。

さらに、新入生全員に歯科医師という職業への動機づけを図るため、アーリーエクスポージャーとして本学附属病院における早期臨床体験学習と、夏休み前に障がい者施設・介護施設において社会福祉体験学習を実施した。

ヒューマンティーズ教育の科目としては、必修科目としてすでに平成 18 年度から人権論を開講し患者さんへの思いやりのある歯科医療人の育成を図った。

第 2 学年では、第 3 学年以降の学修に必要な基礎系歯科医学科目及び歯科英語を配置し、全国共用試験歯学系受験時までに必要な態度・コミュニケーション能力を修得することを目標とした教育を行った。

第 3 学年では、態度教育として研究室体験としてのゼミナールを開講し、教室・講座に関連する歯科医学教育モデル・コア・カリキュラムの内容について説明できることを目標に、学生に対してレポートを課して理解度の指標とした。

研究意欲のある学生に対してゼミナールの中で「研究チャレンジ」を創設するべく検討を行った。学部学生の時期から研究心を育成していくことは、近年、文部科学省が推奨している事項であり、平成 27 年度から開始することを決定した。

4. 第 4 学年の教育

—全国共用試験歯学系 CBT、OSCE への対応を中心に—

本学では、第 4 学年末に実施される CBT は、第 5 学年次の臨床実習に入る前の段階で受験する第 1 次国家試験と位置づけている。これは、歯科医師国家試験受験の学力を担保する極めて重要な関門である。

平成 25 年度から合格基準を改正し、70% 以上合格と厳格化した。それとともに従来からの指導体制（教務部長、指導教授、

教育アドバイザー及び助言教員)による徹底した個別指導と模擬試験などで成績は向上している。

また、OSCEについては、従来から本試験1回のみでの施行であり、このことは、本学学生の客観的臨床能力のレベルの高さを示しているといえる。

5. 第5学年・第6学年の教育

第5学年における臨床実習の成績評価の厳格化(臨床実習終了時試験)、年間5回にわたる進級試験(75点以上合格)などにより学力は向上している。

第6学年に第6学年教務部委員会を設置しており、学士試験1・2を課すとともに、大学指定の模擬試験の成績の分析、教育アドバイザーによる少人数クラスでの指導、特別アドバイザー、大学院生のTAの指導による学習成果を適切に測定し、歯科医師国家試験に備えた。この結果、第108回の歯科医師国家試験では新卒者で良好な成績を取ることができた。今後ともこの体制を充実し、一層の好成績に繋げていくものである。なお、既卒者に対しては既卒者教務部委員会が個別指導を行った。

6. ODU ソーシャルコミュニティについて

枚方市の環境美化活動に関するボランティア事業(アダプトプログラム)に参加することを検討し、平成27年度から楠葉学舎に学ぶ第1学年から第4学年の学生により、早朝の学舎周辺の歩道等を清掃活動で美化する活動を実施することを決定した。これは、本学が重視する態度教育の一環として「ODU ソーシャルプログラム」と命名した。平成26年度は、学生・教職員有志にトライアルを行った。

7. 学生生活指導

昨年度同様に「学生生活ハンドブック」により、学生生活を送る上で必要な情報を全学生に配付した。各学年に学年指導教授、助言教員、特別アドバイザーを配置し、歯科医学教育開発室に配置された専任教員を教育アドバイザーとして修学支援を行った。

「薬物乱用防止講演会」については、9月に大阪府警察本部と枚方警察署から講師を招いて、第1学年を対象に開催され、全員が参加し、学生生活を安全に過ごすための知識を学んだ。

「女性被害防止講演会」については、10月に大阪府警察本部と枚方警察署から講師を招き、第1学年女子学生59名(在籍者67名)が参加し、自ら身を守るための知識を学んだ。

II . 大学院の改革

1. 大学院生の入学倍増計画、外国人留学、大学院教員の増強等

平成27年度入試においては、24名(外国人留学生2名を含む)が合格し、前年度(17名)より増加した。

学生の受け入れ方針(アドミッションポリシー)としては、①口腔科学に探求心をもつ人、②高い倫理観とコミュニケー

ション能力を備えている人、③幅広い視野をもち、創造性とチャレンジ精神に富む人、④自ら問題を発見し、解決する力を備えている人、⑤国際的視野と語学力を身に付け、国際貢献を目指す人、の5項目を掲げて院生の募集を行った。

新設専攻科として障害者歯科学を置くことを決定し、大学院准教授、大学院助教により指導体制を整備した。外国人留学生については引き続き受け入れ態勢を充実させていくものである。

平成26年度大学基準協会認証評価の結果、学位申請論文の作成を指導した教授が論文の主査を務めている現状を改善するように努力課題として指摘があったので、さっそく学位規程改正を検討した。

大学院修士課程については、平成28年4月設置に向けて文部科学省へ申請する最終段階に入った。

III . 教員人材の整備、国際交流、学生の活躍、外部資金獲得等

1. 教員評価について

教員の業績評価については、教育活動、研究活動、臨床活動及び学内・社会活動の4項目を数値化し、評価結果は、講座・教室ごとの研究費の傾斜配分等に活用した。これは、前掲の「八策」の一つである「教員人材育成力への注力」として整備を進めてきたものである。教員の資質向上については、FD委員会が企画立案と実施主体で、開催項目については下記のとおりである。

【平成26年度FDセミナー一覧】

| | |
|-----|---|
| 第1回 | 「歯学系 CBT 問題公募要領と問題作成のポイント」 開催：4月28日(木) 講師：田中昭男教授 / 西川泰央教授 参加：54名 |
| 第2回 | 「アクティブラーニングを再考する - 学生の思考をアクティブにするためには -」 開催：8月11日(月) 講師：関西大学 森朋子准教授 参加：109名 |
| 第3回 | 「ポータブル活用から始めるアクティブ・ラーニング - 「医療倫理」の実践例から -」 開催：10月30日(木) 講師：金沢大学 青野透教授 参加：91名 |
| 第4回 | 「低学力支援とメンタルケア～学生をやる気にさせる学習支援～」 開催：11月7日(金) 講師：(特非)キズキ 仁枝幹太理事 参加：101名 |
| 第5回 | 「反転授業と学習評価～ラーニング・アウトカムズの視点からの授業設計～」 開催：平成27年1月26日(月) 講師：金沢大学 杉森公一准教授 参加：112名 |

なお、今回は第1回目を除き、続く4回は、上記の4名の外部講師により行われた。

2. 教職員の人権研修等

平成27年3月、教職員の人権意識を高めるため人権講演会

を行った。今回は、「職場のハラスメント問題の動向」と題して、本学人権教育室の李嘉永講師から、多様化するハラスメントの現状と対応について詳細な解説が行われた。

なお、大学設置基準の改正で義務化されたFD(ファカルティ・ディベロップメント)、SD(スタッフ・ディベロップメント)に関する事項を大学学則中に新たに規定した。

3. 国際交流

国際交流活動の目的は、グローバル化に対応し、諸外国の大学等との相互教育、研究の充実と発展を図るものであり、同時に教員の資質向上、学生の国際的視野の育成にある。本年は、下記の日程で活発に実施され、平成26年度大学基準協会認証評価においても高く評価された。

平成26年度の学生短期海外研修としては、6月から7月にかけて四川大学華西口腔医学院主催のサマーキャンプに第5学年2名が参加した。さらに7月2名の本学学生が上海交通大学口腔医学院を訪問、臨床実習に参加した。

8月にはシドニー大学歯学部へ6名の学生が訪問、3月にはコロンビア大学歯学部へ第5学年8名を派遣し、特別講義や臨床見学、同大学生とのディスカッションなどを行い知見を深めた。

一方、協定校からは、4月にコロンビア大学歯学部から2名、7月に上海交通大学口腔医学院5名、南方医科大学口腔医学院5名、台北医学大学口腔医学院4名、11月にシドニー大学歯学部4名の学生の訪問を受け入れ、特別講義、本学卒業生の歯科医院見学などが行われた。

4. 学生の活躍と地域との交流

1) 本学学生の活躍

本学は従来から学部学生、大学院生の研究意欲の向上に力を注いでいるが、その活躍が輝いた年であった。

7月に、欠損歯列補綴咬合学講座の大学院生と口腔外科学第二講座講師(非常勤)が第27回日本顎関節学会学術大会ポスター発表優秀賞を受賞した。

8月には、スチューデント・クリニシャン・リサーチ・プログラム(SCRP)日本代表選抜大会が行われ、第5学年のグループが臨床部門第2位に輝いた。

また、本学は、学生のスポーツ振興にも力を注いでいる。

第46回全日本歯科学学生総合体育大会では、本学体育会各部の活躍により総合で第3位を収め、部門別ではボウリング部、空手道部、アーチェリー部、漕艇部が優勝した。ラグビー部は第47回全日本歯科学学生総合体育大会冬期部門で準優勝し、2014関西大学ラグビー7sリーグで優勝した。

2) 地域との交流

・第22回大阪歯科大学公開講座

地域社会に対して本学の保有している研究に関する紹介と歯学に対する教養の普及を図る公開講座は、本年度のメインテーマを「超高齢社会への歯科の取り組み」と題して、多数の受講

者に恵まれ好評であった。

| |
|--|
| サブテーマ「大規模災害における口腔ケアの重要性 - 南海トラフ大地震に備える -」 講師：神戸常盤大学短期大学部 口腔保健学科 足立平教授 天満橋講座 受講者数：182名 / 枚方講座 受講者数：225名 |
| サブテーマ「信頼できる「かかりつけ歯科医」とともに」 講師：本学 高齢者歯科学講座 高橋一也准教授 天満橋講座 受講者数：183名 / 枚方講座 受講者数：216名 |

・学園都市ひらかた推進協議会等の枚方市との連携事業への参画

平成26年5月、本学主管で枚方市長と枚方市に所在する6大学(関西医科大学、関西外国語大学、摂南大学薬学部、大阪工業大学、大阪国際大学、大阪歯科大学)との標記協議会が開催され、大学と市民、企業等との交流や連携の機会の拡大について推進していくことが確認された。

協議会主催の事業として、「子ども大学探検隊」が11月の本学大学祭の開催と同時に「歯の模型を作ろう!1日歯医者さん体験!」として本学学生ボランティアも参加し枚方市の小学生39名が実際に歯の模型実習を体験した。

同じ11月に「ひらかた市民大学2014」として、本学高齢者歯科学講座の高橋一也准教授により、『「お口は元気の源です!」〜介護予防のためのマネジメント』と題する講演が行われ、48名が参加した。

協議会事業とは別に、6月には牧野学舎において、枚方市牧野5校区(殿二、牧野、招堤、西牧野、平野)の地域の方々の自主防災訓練が行われた。牧野学舎は、災害時の第一次避難所に指定されており、これまでも台風接近時には一部住民の方が避難されている。なお、学舎には防災備品や発電機も設置されている。

その他、関西医科大学、摂南大学薬学部・看護学部、本学など医学系、医療系機関と枚方市で構成される「健康医療都市ひらかたコンソーシアム」にも参画している。

3) 外部資金の獲得による教育・研究活動の振興

○平成26年度私立大学等経常費補助金

本学への日本私立学校振興・共済事業団からの交付額は、3億5213万9千円であり、そのうち特別補助は3029万4千円で前年度比203万1千円の増額であった。

特別補助の内訳は以下のとおりである。

- ・大学等の国際交流の基盤整備(海外派遣、大学院入試等)
- ・大学院等の機能の高度化
 - 大学院における研究の充実(女性研究者支援)
 - 研究施設運営支援(中央歯学研究所)
- ・授業料減免及び学生の経済的支援体制の充実
 - 卓越した学生に対する授業料減免等(特待生制度)
 - 学生の経済的支援体制等の充実(共済会奨学金)

○平成25年度私立大学等研究設備整備費等補助金(私立大学等研究設備等整備費)

26年度に補助申請したもので、文部科学省からの交付額は1584万8千円であった。

事業名：BDFACSVerse フローサイトメーター 3 レーザー
8 カラーモデル一式

○平成26年度学術研究振興資金

日本私立学校振興・共済事業団からの交付額は100万円であった。

研究課題：iPS細胞を用いた広域顎口腔組織欠損再生に向けた基礎的研究

○平成26年度科学研究費補助金（文部科学省）

- | | |
|-------------|------|
| ・基盤研究（B） | 1件 |
| ・基盤研究（C） | 38件 |
| ・挑戦的萌芽研究 | 1件 |
| ・若手研究（B） | 14件 |
| ・研究活動スタート支援 | 2件 |
| ・特別研究員奨励費 | 1件 |
| | 計57件 |

補助金交付額7130万円

（間接経費2139万円 合計9269万円）

4) 教育環境の整備

現在の大学の校地面積は、大学設置基準に定める面積の約10倍を保有している。その中において学生が学習に集中できる環境の整備に努め、第4学年用の自習室を整備することを決めた。また、図書館は必要な質・量の図書学術雑誌、電子媒体を整えている。『大学ランキング2016』（週刊朝日大学ムック）において、大学の学生一人当たりの図書貸出冊数は10.5冊で、私立歯科大学・歯学部の中でAランクに位置している。

5) 臨床研究における規程整備

臨床研究において新たに「学校法人大阪歯科大学臨床研究利益相反ポリシー」と「学校法人大阪歯科大学臨床研究利益相反管理規程」を整備した。

また、大学の医の倫理委員会に関する事項について、学内規程、倫理指針、議事要旨、臨床研究の情報などをホームページに掲載、公開することとなった。

6) 大学におけるガバナンス改革について

学校教育法の改正に伴い、大学においても早急に学内諸規程の改正に取り組み「大阪歯科大学学則」及び「大阪歯科大学教授会・主任教授会規程」について改正作業を進めた。

7) 情報公開の推進

従来から、大学では情報公開を進めているが、受験生及び保護者からの目線でさまざまな内容を得ることができるよう工夫を行っている。

公開が義務づけられている研究情報についても容易に閲覧が可能となっており、さらに財務状況については各年度の収支状況を見ることができる。

平成26年度事業として、大学ホームページのリニューアル作業を進め、スマートフォンからも大学の最新情報にアクセスできる環境を整備した。

8) 認証評価への取り組み

・大学基準協会認証評価及び歯学教育認証評価トライアルについて

本学は、大学基準協会に昭和52年に会員となり、平成10年度に相互評価の認定をはじめとして、平成19年度に認証評価を受け「大学基準」に適合しているとの評価を得た。そして今回、平成26年度に3回目となる認証評価を受審、全学的な協力のもと、自己点検・評価活動を展開した結果、平成27年3月に無事「大学基準」に適合しているとの認定を受けた。

その中では、大学の建学の精神である「博愛公益」を最も体現する「社会連携・社会貢献」で大学独自の公開講座の充実度や、国際交流を含む学術交流の継続とその発展が高い評価を受けた。

一方、大学学則に新カリキュラムに対応した教育課程や卒業要件単位数が規定されていないとの指摘事項（改善勧告）については、平成26年度中に改正を届け出た。さらに他の指摘事項（努力課題）についても、今後改善報告書を大学基準協会へ提出することとなるが、内部質保証の観点から、自己点検・評価活動は毎年度継続して実施していかなければならない。

また、大学基準協会の機関別認証評価とは別に、分野別認証評価として文部科学省の「医学・歯学教育認証評価制度等の実施」事業において、大学が連携大学としてトライアル校に選ばれ、平成26年に自己点検・評価書を作成し主幹大学の東京医科歯科大学へ提出した。これを受けて平成26年10月に現地調査を受け、その結果は概ね良好であった。

今回の二つの認証評価受審を契機に、継続的な自己点検・評価活動により、建学の精神である「博愛公益」を大学の理念として、一層の教育、研究、診療、管理運営の発展充実を期するものである。

IV. 附属病院の財務改革等

1. 平成26年度延べ患者数等

医療収入については、附属病院・専門学校経営改善委員会にてデータ分析を行い、改善への方向性を示し、過去3年間の収入の平均を基準として8%増収を目標額とした。病院運営委員会において目標達成状況を報告し、医療保険請求漏れ防止や歯科疾患管理料の算定等に努めた。医療収入のみで初めて20億円（20億6,041万641円）の台に乗せることができた。平成26年度の初診患者数は、2万5,266人、一日平均87.12人で対前年度比99.91%であった。

また、外来・入院延べ患者数は、26万5,188人であり、主

な地域別内訳は大阪府 23 万 875 人、兵庫県 1 万 5,254 人、奈良県 9,758 人、京都府 6,008 人、和歌山県 993 人であり、その他滋賀県、三重県、東京都、北海道、沖縄県などである。

平成 25 年 5 月 11 日から始まった土曜日診療については、初診・再診合わせた平成 26 年度延べ患者は、2,943 人で一日平均 61.31 人であった。

2. 先進医療の推進

先進医療とは、新しい医療技術の出現・患者ニーズの多様化等に対応するために、健康保険の診療で認められている一般の医療の水準を超えた最新の先進技術として、厚生労働大臣から承認された医療行為である。当院では、平成 21 年 6 月 1 日より「歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法」、平成 25 年 1 月 1 日より「有床義歯補綴治療における総合的咬合・咀嚼機能検査」及び平成 26 年 9 月 1 日より「金属代替材料としてグラスファイバーで補強された高強度のコンポジットレジンを用いた三ユニットブリッジ治療」を実施している。

3. 歯科医師の派遣

以前から実施している、社会福祉法人阪神福祉事業団センター診療所、日本放送協会（大阪放送局）へ派遣した。

4. 歯科医師臨床研修の概要

修了者は、プログラム S(単独型)22 名、プログラム C(複合型)68 名の合計 90 名であった。なお、12 月よりプログラム S(単独型)で、研修歯科医 1 名を追加で受入し平成 27 年度 4 月の修了を予定している。研修歯科医受入施設は、43 施設であった。臨床研修費等補助金は、前年度に比べ 2,797 万円減の 9,375 万円であった。なお、減額の主要因は、研修歯科医が前年度より 26 名減じたためである。

平成 27 年 1 月に枚方市健康医療キャラバンに関わる学校歯科保健活動を枚方市立高陵小学校において、研修歯科医を派遣し実施した。

第 10 回大阪歯科大学附属病院歯科医師臨床研修指導歯科医講習会を平成 27 年 1 月に開催、一般公募した臨床経験 7 年以上の歯科医師を含む 28 名が受講し修了証を交付した。また、指導歯科医の資質向上のための講習会を、管理型及び協力型臨床研修施設の指導歯科医を対象に、平成 27 年 1 月、2 月に開催した。

5. 病診連携講演会（懇談会）

病診連携、病病連携の推進を目的として開催している病診連携講演会（懇談会）は平成 26 年度で 12 回目を数え、平成 27 年 2 月に開催された。

なお、平成 26 年度に医療機関から紹介いただいた患者数は 9,421 人になっており、紹介率は 37.3%（前年度 36.2%）となった。

6. 地域医療連携について

地域の診療所の先生方への支援として CT、MRI、歯科用 CT、検体検査及び病理組織検査の検査支援体制を整備しており、多くの先生方との共同治療に利用されている。

また、当院と隣接する「国家公務員共済組合連合会 大手前病院」との医療連携に関しては、平成 17 年 6 月に協力医療機関相互診療委託契約を締結し、「大阪歯科大学附属病院・大手前病院打ち合わせ会」を立ち上げ、平成 26 年度も 3 か月に 1 回の割合で定期的に相互の病院で、それぞれの副院長、医員、看護師長、歯科衛生士長、事務職員等が出席し、医療連携の推進、情報交換等を行った。当院より訪問歯科診療が継続実施されており、年間約 70 名の入院患者の治療や口腔ケアを施行している。また、金属アレルギー患者の口腔内金属の成分分析依頼にも対応している。

一方、当院からは口腔癌の放射線治療（約 15 名/年）、全身疾患を有する患者様のコンサルタントや入院患者様の救急対応などを依頼し、密接な地域医療連携を構築している。

平成 25 年度より新たに発足した「大手前病院地域医療支援病院運営委員会」に、委員として本院副院長が参加し、運営に参画している。

施設基準「感染防止対策加算 2」の算定に係る連携については、合同カンファレンスの実施及び院内感染防止対策状況についてのラウンドを相互に行い、院内感染防止の向上に努めている。関西医科大学（天満橋総合クリニック）とは、従来から特殊検査により提携を行っている。

7. 医療安全講習会、院内感染対策講習会等

医療安全、院内感染防止等に関する取り組みは、昨年度に引き続き講習会を開催し、多数の教職員が参加した。

| | |
|---------------|--------|
| 「医療安全講習会」 | 11 回開催 |
| 「院内感染対策講習会」 | 10 回開催 |
| 「医薬品安全管理講習会」 | 5 回開催 |
| 「医療機器安全管理講習会」 | 4 回開催 |

8. 医療機器の更新について

眼科において眼科手術装置（1,755 万 5,600 円）、耳鼻咽喉科においてオリンパスメディカルシステム カメラヘッド・ライトケーブル・LG アダプター（199 万 5,840 円）、中央画像検査部においてデジタル X 線画像診断システム FCR（1,539 万円）の更新が行われた。また、歯周治療科、高齢者歯科及び補綴咬合治療科のチェアユニット 6 台（1,698 万 3,015 円）の更新も行った。

口腔外科においてはチェアユニット（ファントム付）11 台（3,534 万 5,613 円）が、文部科学省研究設備整備費等補助金により半額補助を受け更新した。

9. 病院情報システムの更新について

平成 28 年度からスタートする新病院情報システム（歯科（診

療)システム系、医科(診療)システム系、医療事務システム系から構成される基幹システム)について、平成26年度に複数の導入業者による見積書提出を受け、設定に関する準備を進め、慎重に検討を行った結果、メディア(株)の新システムを導入することに決定した。

10. 人事関係諸規程の制定

附属病院において、診療業務を主として行う任期付医員(医師及び歯科医師)の労働条件を定めた就業規則と、医員の評価を行う医員診療評価規程とを新たに制定した。

V. 歯科技工士・歯科衛生士両専門学校の改革

理事会傘下の経営改善委員会において、専門学校の運営改善に向けて検討を行った。

1. 歯科技工士専門学校

生徒募集については、高校への訪問、ホームページや学校独自に広報誌を作成し、実際に歯科技工の現場で働く卒業生の声を掲載するなど積極的に広報活動を行った結果、平成27年度新入生は前年度より増加した。

「義歯専攻コース」、「CAD/CAM専攻コース」、「インプラント専攻コース」の3コースを設け、2年制の特色ある医療専門職教育を行い、平成26年度歯科技工士国家試験の合格率は100%であった。卒業後の進路については、歯科医院、歯科技工所への就職、本校専攻科への進学などである。

2. 歯科衛生士専門学校

生徒募集については、高校への訪問、ホームページなどにより広報活動を行い、平成27年度新入生は前年度より増加した。また平成27年4月から教育訓練給付制度(専門実践教育)の指定を受けることとなり、社会人受験生に対する門戸を拡げた。

3年制の充実したカリキュラムにより、特色ある医療専門職教育を行い、歯科衛生士国家試験の合格率は3年制に移行後100%を維持し続けている。高齢者社会に対応できる有為な人材を多く輩出していることから、求人件数も20倍となり、一般開業医、企業、病院など高い就職率を誇っている。

大学学部で科目等履修生制度が新設され、国家試験合格後に両専門学校卒業生がこの制度により単位を取得し、大学評価・学位授与機構に申請・審査を受け「学士」の学位が与えられる道が開かれた。さらに、現在認可に向けて準備中の大学院修士課程への進学もキャリアパスに繋がることとなる。

----- 附属資料 -----

1. 平成26年度学生数 ()は女子 (平成26年5月1日現在)

| 【大学】 | | | 【大学院】 | | |
|------|-----|-------|-------|----|------|
| 第1学年 | 143 | (68) | 第1学年 | 17 | (4) |
| 第2学年 | 150 | (54) | 第2学年 | 25 | (9) |
| 第3学年 | 115 | (47) | 第3学年 | 19 | (11) |
| 第4学年 | 159 | (70) | 第4学年 | 29 | (13) |
| 第5学年 | 105 | (47) | | 90 | (37) |
| 第6学年 | 168 | (58) | | | |
| | 840 | (344) | | | |

【歯科技工士専門学校】

| | | | | | |
|------|----|-----|-------|----|-----|
| 第1学年 | 10 | (4) | 専攻科1年 | 4 | (0) |
| 第2学年 | 14 | (5) | 専攻科2年 | 11 | (1) |
| | 24 | (9) | | 15 | (1) |

【歯科衛生士専門学校】

| | | |
|------|-----|-------|
| 第1学年 | 45 | (45) |
| 第2学年 | 48 | (48) |
| 第3学年 | 53 | (53) |
| | 146 | (146) |

2. 第108回歯科医師国家試験の結果

平成27年3月18日合格発表

| | | 本学 | 全国 |
|----|--------|------|-------|
| 総数 | 受験者数 | 151 | 3,138 |
| | 合格者数 | 96 | 2,003 |
| | 合格率(%) | 63.6 | 63.8 |
| 新卒 | 受験者数 | 93 | 1,995 |
| | 合格者数 | 72 | 1,457 |
| | 合格率(%) | 77.4 | 73.0 |
| 既卒 | 受験者数 | 58 | 1,143 |
| | 合格者数 | 24 | 546 |
| | 合格率(%) | 41.4 | 47.8 |

3. 平成27年度入学試験状況

| | | 志願者 | 合格者 | 入学者 |
|-----------|------------|-----|-----|-----|
| 大学 | 推薦入試 | 50 | 33 | 128 |
| | 一般入試(前期) | 253 | 78 | |
| | 一般入試(後期) | 78 | 15 | |
| | センター入試(前期) | 95 | 10 | |
| | センター入試(後期) | 14 | 3 | |
| | 編入学(前期) | 11 | 8 | 9 |
| 編入学(後期) | 2 | 2 | | |
| 大学院 | 一般入試(一次) | 7 | 7 | 24 |
| | 一般入試(二次) | 15 | 15 | |
| | 外国人留学生特別選抜 | 2 | 2 | |
| 歯科技工士専門学校 | 歯科技工士学科 | 13 | 13 | 12 |
| | 編入学 | 2 | 2 | 2 |
| | 専攻科 | 5 | 5 | 5 |
| 歯科衛生士専門学校 | | 78 | 50 | 50 |

4. 平成25年度会計実査

平成26年4月3日(木)

5. 大学・大学院入学式

平成26年4月4日(金)午前10時(於:楠葉学舎)

6. 平成 26 年度大学新入生研修

平成 26 年 4 月 4 日 (金) 午後 2 時 30 分 (於: 楠葉学舎)
平成 26 年 4 月 7 日 (月) 午前 9 時 (於: 牧野学舎)
平成 26 年 4 月 8 日 (火) 午前 9 時 (於: 楠葉学舎)

7. 平成 26 年度 FD セミナー (本文参照)

8. 平成 25 年度監事監査

平成 26 年 5 月 12 日、13 日 (於: 楠葉学舎)

9. 解剖体慰霊祭

平成 26 年 5 月 16 日 (金) 午後 2 時 (於: 四天王寺)

10. オープンキャンパス (於: 楠葉学舎)

- ・ 第 1 回 平成 26 年 6 月 1 日 (日)
48 名参加 (うち、学生 25 名)
- ・ 第 2 回 平成 26 年 7 月 21 日 (月・祝)
173 名参加 (うち、学生 79 名)
- ・ 第 3 回 平成 26 年 8 月 24 日 (日)
129 名参加 (うち、学生 58 名)
- ・ 第 4 回 平成 26 年 11 月 1 日 (土)
62 名参加 (うち、学生 33 名)

11. 大学父兄会・共済会総会

平成 26 年 6 月 28 日 (土) 午後 1 時 (於: 楠葉学舎)
父兄出席者数 265 名

12. 受験相談及び病院見学会 (於: 天満橋学舎)

平成 26 年 8 月 1 日 (金) 33 名参加 (うち、学生 15 名)

13. 第 46 回全日本歯科学生総合体育大会 (当番校: 日本歯科大学新潟生命歯学部)

平成 26 年 8 月 1 日 (金) ~ 12 日 (火) 総合第 3 位

14. 平成 26 年度薬物乱用防止講演会

平成 26 年 9 月 4 日 (木) 午前 9 時 (於: 楠葉学舎)
講師 大阪府警察本部刑事部薬物対策課 小川 浩一 警部
対象者: 第 1 学年、140 名出席

15. 第 22 回公開講座

メインテーマ 「超高齢化社会への歯科の取り組み」
< 天満橋講座 > 平成 26 年 9 月 13 日 (土)、20 日 (土)
受講者延べ 365 名 (於: 100 周年記念館)
< 枚方講座 > 平成 27 年 2 月 21 日 (土)、28 日 (土)
受講者延べ 441 名 (於: 楠葉学舎)
(時間はいずれも午前 10 時~正午)

16. 第 6 学年父兄懇談会

平成 26 年 9 月 27 日 (土) 午後 1 時 (於: 100 周年記念館)

60 名出席

17. 平成 26 年度女性被害防止講演会

平成 26 年 10 月 6 日 (月) 午後 3 時 30 分 (於: 楠葉学舎)
講師: 大阪府警 2 名・枚方署 1 名
1 年女子学生 59 名出席

18. 平成 26 年度解剖体遺骨返還式

平成 26 年 10 月 10 日 (月) 午後 2 時 (於: 楠葉学舎)

19. 平成 26 年度地方父兄会 (奈良県)

平成 26 年 10 月 19 日 (日) 午前 10 時 (於: ホテル日航奈良)
学生 17 名の保護者出席

20. 平成 26 年度大学祭 テーマ: NO BORDER

- ・ 体育祭 平成 26 年 10 月 25 日 (土) (於: 牧野学舎)
- ・ 文化祭 平成 26 年 11 月 1 日 (土)、2 日 (日) (於: 楠葉学舎)

21. 平成 26 年度自衛消防訓練

- ・ 楠葉学舎 平成 26 年 11 月 14 日 (金)
- ・ 牧野学舎 平成 26 年 12 月 9 日 (火)
- ・ 天満橋学舎 平成 26 年 11 月 25 日 (火)

22. 実験動物慰霊祭

平成 26 年 11 月 21 日 (金) 午後 1 時 30 分 (於: 楠葉学舎)

23. 平成 26 年度全学教職員忘年慰労会

平成 26 年 12 月 26 日 (於: 天満橋学舎)

24. 平成 27 年新年互礼会

平成 27 年 1 月 5 日 (於: 楠葉学舎)

25. 教授退職記念講演会 (於: 100 周年記念館)

- ・ 神原主任教授 平成 27 年 2 月 15 日 (日) 午前 10 時 10 分
- ・ 諏訪主任教授 平成 27 年 2 月 15 日 (日) 午前 10 時 55 分
- ・ 岩井主任教授 平成 27 年 2 月 15 日 (日) 午前 11 時 40 分
- ・ 川合主任教授 平成 27 年 2 月 15 日 (日) 午後 1 時 15 分
- ・ 前田専任教授 平成 27 年 2 月 15 日 (日) 午後 2 時

26. 平成 26 年度共用試験歯学系 CBT 並びに OSCE

- ・ CBT 平成 27 年 2 月 27 日 (金) 午前 9 時 30 分 (於: 楠葉学舎)
- ・ OSCE 平成 27 年 3 月 22 日 (日) 午前 9 時 (於: 天満橋学舎)

27. 平成 26 年度卒業式並びに大学院学位認証式

平成 27 年 3 月 6 日 (金) 午前 10 時 (於: 楠葉学舎)

28. 平成 26 年度歯科医師臨床研修修了証授与式

平成 27 年 3 月 24 日 (火) 午後 2 時 30 分 (於: 天満橋学舎)

29. 口腔インプラント学講座の新設

30. 大学特待生の採用

2年2名・3年2名・4年2名・5年1名・6年2名、
授業料100万円免除

31. 大学学内奨学生選考

2名の学生に対して総額1,750,000円の奨学金を貸与

32. 平成26年度SCRP(スチューデント・クリニシャン・リサーチ・プログラム)日本代表選抜大会において5年生・三上 優さんが臨床部門第2位に入賞

研究テーマ:「睡眠中のアロマセラピーはSIgAの分泌促進と
唾液中細菌数の減少を促進する」

33. 平成27年度臨床研修歯科医の募集定員

単独型研修方式40名、複合型研修方式120名

34. 学位授与

・学位記番号 甲第740号～767号 28名に学位記授与

・学位記番号 乙第1587号～1593号 7名に学位記授与

35. 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会大学連携協定締結(平成26年6月23日付)

36. 平成26年度法人理事会・法人評議員会・主任教授会・教授会・大学院研究科会議

1) 法人理事会 16回開催

(平成26年4月3日(2回)、4月24日、5月29日(2回)、
6月26日、7月24日、8月28日、9月30日、10月23日、
11月27日、12月26日、平成27年1月29日、2月26日、
3月26日(2回))

2) 法人評議員会 3回開催

(平成26年4月3日、5月29日、平成27年3月26日)

3) 主任教授会 26回開催

(平成26年4月9日、4月23日、5月14日、5月28日、6月11日、
7月9日、7月23日、8月13日、9月10日、9月19日、10月8日、
10月20日、10月27日、11月12日、11月26日、12月3日、
12月10日、平成27年1月15日、1月27日、2月4日、2月12日、
2月18日、2月25日、3月4日、3月11日、3月27日)

4) 教授会 2回開催

(平成26年4月9日、平成27年3月27日)

5) 大学院研究科会議 14回開催

(平成26年4月23日、5月28日、6月25日、7月23日、8月
27日、9月19日、10月8日、10月20日、11月26日、12月
24日、平成27年1月28日、2月12日、2月25日、3月25日)

37. 本学関係 褒章・叙勲の受章者等

1) 褒章 大学22回 黒住 正三 岡山県 藍綬褒章

2) 叙勲 専門30回 桐山 浩 岐阜県 旭日双光章 共15名

3) 平成26年度文部科学省医学教育等関係業務功労者表彰

附属病院 歯科衛生士長 高田橋 美幸

歯科技工士長 西村 元彦

38. 川添理事長・学長

・(公社)医療系大学間共用試験実施評価機構理事に再任

(期間:平成26年6月5日～平成28年6月30日)

・(一財)歯科医療振興財団理事長に就任(平成26年6月30日付)

・文部科学省 歯学教育の改善・充実に関する調査研究協力者会議委員に就任(任期:平成26年7月1日～平成28年3月31日)

・厚生労働省 歯科医師の資質向上等に関する検討会構成員に就任

39. 教職員数(平成27年3月1日現在:365名)

1) 大学 349名

・教員数 185名

学長1名、主任教授27名、専任教授7名

准教授26名、講師69名、助教53名、病院教授1名、
病院助教1名

・職員数 165名

事務・技術75名、医療89名、労務1名

2) 歯科技工士専門学校 7名

教員5名、事務2名

3) 歯科衛生士専門学校 8名

教員6名、事務2名

40. 人事

1. 法人関係

1) 法人役員就任

理事長

川添 堯彬

常務理事(総務兼財務担当)

下村 錢三郎

常務理事(教学兼財務担当)

田中 昭男

常務理事(教学兼人事担当)

諏訪 文彦

理事(教学兼人事担当)

覚道 健治

理事(総務兼人事担当)

三谷 卓

理事(調査担当)

岡 邦恭

理事(調査担当)

橋本 猛伸

理事(総務兼財務担当)

藤野 明

理事(財務担当)

前田 眞治

監事

本井 文夫

監事

古川 壽男

2) 評議員就任

池尾隆、生駒等、今井徳子、岩井康智、上田雅俊

大浦清、大坂尚史、太田謙司、岡邦恭、岡本学

恩田信雄、加藤信次、川合進二郎、河合正治

川添堯彬、川野敏樹、神原正樹、窪盛偉、小正裕

酒井昭則、佐ノ木幸夫、清水谷公成、下村錢三郎

城村幸治、末瀬一彦、鈴木實、玉置敏夫、中谷讓二

西川泰央、林秀彦、福島久典、藤井征、北條博一

松田毅、三谷卓、森田章介、山科透、山本一世
吉本一馬、和手甚京

- 3) 顧問の委嘱 上田雅俊
- 4) 教授定年退職に伴う理事退任 諏訪文彦
- 5) 教授定年退職等に伴う評議員退任
神原正樹 共5名

2. 名誉教授称号授与

林宏行、小谷順一郎、武田昭二

3. 退職

- 1) 定年退職
口腔衛生学講座 主任教授 神原正樹 共15名
- 2) 依願退職
薬理学講座 講師 西浦弘志 共11名
- 3) 任期付職員期間満了退職
図書課 事務職員 平田悠樹
- 4) 再雇用契約満了退職
同窓会事務局 事務職員 三木慶一

4. 昇任

- 1) 主任教授
内科学講座 准教授 大久保直 共2名
- 2) 准教授
口腔外科学第二講座 講師 大西祐一 共3名
- 3) 定年退職に伴う准教授特別昇任
口腔治療学講座 講師 好川正孝
- 4) 講師
化学教室 助教 牧田佳真 共11名
- 5) 定年退職に伴う講師特別昇任
口腔外科学第一講座 助教 田伏信
- 6) 専門学校教員
歯科技工士専門学校 教務主任 森川良一 共2名
- 7) 職員
法人事務局長 齊藤広志 共6名

5. 任用

- 1) 主任教授
口腔治療学講座 博士(歯学) 前田博史 共3名
- 2) 准教授
薬理学講座 歯学博士 天野均
- 3) 講師
物理学教室 博士(工学) 松原英一 共5名
- 4) 助教
歯科保存学講座 博士(歯学) 小正玲子 共8名
- 5) 大学院教員
大学院教授 諏訪文彦 共20名
大学院准教授 竹村明道 共22名
大学院講師 上村守 共26名
大学院助教 上田甲寅 共24名
- 6) 専門学校校長
歯科技工士専門学校 校長 末瀬一彦
歯科衛生士専門学校 校長 小出武

7) 看護師

附属病院 岩谷亜希子

8) 任期付職員の正規職員登用

教務学生課 課長 中山勝美 共4名

9) 任期付職員新規採用

教務学生課 主任 中谷悟 共5名

10) 任期付医療職員新規採用

附属病院 薬剤師 安藤薫

6. 任期制教員契約更新

歯科保存学講座 助教 竹内摂 共2名

7. リサーチ・アシスタント採用

歯周病学 山脇勲 共6名

8. 所属異動

大学事務局長 亀井崇 共4名

9. 兼務

病院事務部長 齊藤広志

10. 定年退職後再雇用

総務課 人権担当 事務職員 野中登貴男 共2名

11. 定年退職後再々雇用

同窓会事務局 事務職員 三木慶一

12. 委嘱

1) 大学役職者(平成26年4月1日付)

| | |
|------------|--------|
| 副学長 | 諏訪 文彦 |
| 副学長 | 小正 裕 |
| 総務部長 | 小正 裕 |
| 教務部長 | 田中 昭男 |
| 学生部長 | 田中 昌博 |
| 図書館長 | 川合 進二郎 |
| 附属病院病院長 | 覚道 健治 |
| 大学院研究科科長 | 西川 泰央 |
| 中央歯学研究所所長 | 清水谷 公成 |
| 教育情報センター所長 | 佐ノ木 幸夫 |
| 国際交流部長 | 岡崎 定司 |
| 附属病院副病院長 | 森田 章介 |
| 附属病院副病院長 | 山本 一世 |

2) 名誉客員教授

岡山大学 名誉教授 山下敦

3) 客員教授

大阪歯科大学附属病院 元病院教授 北條博一 共5名

4) Visiting Professor

韓国慶熙大学校歯科大学 主任教授
Young-Guk Park 共8名

5) 平成26年度講師(非常勤)

解剖学講座 清水孝治 共411名

平成26年度 大学院講師(非常勤)

解剖学 江原大輔 共55名(平成26年4月1日付)

6) 臨床教授

口腔インプラント科 江藤隆徳 共2名

7) 嘱託

梅垣麻酔科クリニック 院長(医師) 梅垣裕 共17名

8) 医科当直医師

関西医科大学附属滝井病院内科 医師 玉置岳史 共11名

9) 病院医員 64名

10) 臨床講師 55名

11) ティーチング・アシスタント

口腔外科学第一 石川敬彬 共12名

12) 平成26年度ポストドクトラルフェロー

口腔外科学第二 渡辺昌広 共2名

13) 学生相談室カウンセラー

臨床心理士 関珠希 共3名

14) 医務室嘱託医師

大阪大学医学部 助教(医師) 木田博

15) 各種委員会委員長

(1) 大学関係

| | |
|-----------------------|--------|
| 総務部委員会委員長 | 小正 裕 |
| 教務部委員会委員長 | 田中 昭男 |
| 第6学年教務部委員会委員長 | 田中 昭男 |
| 既卒者クラス教務部委員会委員長 | 田中 昭男 |
| 廃棄物処理委員会委員長 | 小正 裕 |
| 図書館運営委員会委員長 | 川合 進二郎 |
| 図書資料選択委員会委員長 | 川合 進二郎 |
| 学生部委員会委員長 | 田中 昌博 |
| 学内食堂管理運営委員会委員長 | 田中 昌博 |
| 教育情報センター管理運営委員会委員長 | 佐ノ木 幸夫 |
| 健康管理委員会委員長 | 覚道 健治 |
| 楠葉学舎衛生委員会委員長 | 川合 進二郎 |
| 天満橋附属病院衛生委員会委員長 | 清水谷 公成 |
| 国際交流部委員会委員長 | 岡崎 定司 |
| 学術研究奨励助成金交付審査委員会委員長 | |
| 兼共同研究助成審査委員会委員長 | 田中 昭男 |
| カリキュラム委員会委員長 | 諏訪 文彦 |
| 共用歯学 CBT 委員会委員長 | 西川 泰央 |
| 共用歯学 OSCE 実行委員会委員長 | 山本 一世 |
| ブラッシュアップ委員会委員長 | 松本 尚之 |
| FD 委員会委員長 | 田中 昭男 |
| 入試委員会委員長 | 田中 昭男 |
| 公開講座委員会委員長 | 有田 憲司 |
| 医の倫理委員会委員長 | 覚道 健治 |
| 組換え DNA 実験安全委員会委員長 | 川合 進二郎 |
| 動物実験委員会委員長 | 池尾 隆 |
| バイオセーフティ委員会委員長 | 梅田 誠 |
| セクシュアル・ハラスメント防止委員会委員長 | |
| | 川添 堯彬 |
| 知的財産委員会委員長 | 覚道 健治 |
| 教員評価委員会委員長 | 川添 堯彬 |
| 大学院委員会委員長 | 西川 泰央 |
| 中央歯学研究所委員会委員長 | 清水谷 公成 |
| 学生基礎実習運営連絡検討委員会委員長 | 田中 昭男 |

(2) 法人関係

| | |
|----------------------------|--------|
| 財務企画委員会委員長 | 川添 堯彬 |
| 財務企画委員会病院の運営に関する事項部会会長 | |
| | 覚道 健治 |
| 財務企画委員会牧野学舎将来計画作業部会会長 | |
| | 下村 錢三郎 |
| 財務企画委員会給与部会会長 | 三谷 卓 |
| 財務企画委員会経営部会会長 | 下村 錢三郎 |
| 退職資金管理運営委員会委員長 | 三谷 卓 |
| 業者登録選考委員会委員長 | 下村 錢三郎 |
| 学術研究奨励基金管理運営委員会委員長 | |
| | 下村 錢三郎 |
| 環境管理委員会委員長 | 覚道 健治 |
| 枚方資料センター管理運営委員会委員長 | |
| | 覚道 健治 |
| 予算委員会委員長 | 下村 錢三郎 |
| 人事委員会委員長 | 三谷 卓 |
| 自己点検・評価委員会委員長 | 川添 堯彬 |
| ODU ウェルネス・ホール管理運営委員会委員長 | |
| | 小正 裕 |
| 広報委員会委員長 | 川添 堯彬 |
| 人権啓発推進委員会委員長 | 川添 堯彬 |
| 個人情報保護委員会委員長 | 川添 堯彬 |
| 個人情報保護委員会大学部門委員会委員長 | |
| | 諏訪 文彦 |
| 個人情報保護委員会病院部門委員会委員長 | |
| | 覚道 健治 |
| 個人情報保護委員会事務部門委員会委員長 | |
| | 牧谷 弘幸 |
| 大阪歯科大学附属病院財務改善検討委員会委員長 | |
| | 下村 錢三郎 |
| 資産運用検討委員会委員長 | 下村 錢三郎 |
| 学校法人大阪歯科大学利益相反検討委員会委員長 | |
| | 覚道 健治 |
| 専門学校・大学の大学・短大化に関する検討委員会委員長 | |
| | 三谷 卓 |
| 附属病院・専門学校経営改善委員会委員長 | |
| | 川添 堯彬 |
| 学校法人大阪歯科大学省エネルギー推進委員会委員長 | |
| | 下村 錢三郎 |

16) 学年指導教授・助言教員・特別アドバイザー

(平成26年4月1日現在)

| | | |
|--------|----|------|
| 学年指導教授 | 1年 | 藤原眞一 |
| | 2年 | 王宝禮 |
| | 3年 | 西川泰央 |
| | 4年 | 有田憲司 |
| | 5年 | 山本一世 |
| | 6年 | 梅田誠 |
| 既卒者 | | 田中昌博 |

指導教授特別補佐（1～6年及び既卒者） 田中昭男
 教育アドバイザー 1～6年 王宝禮 共2名
 助言教員 1年 李嘉永 共8名
 2年 竹村明道 共8名
 3年 乾千珠子 共8名
 4年 岩田有弘 共8名
 特別アドバイザー 5年 谷本啓彰 共12名
 6年 戸田伊紀 共23名
 既卒者 小出武 共3名

17) 平成26年度学友会会長
 主任教授 松本尚之

・引率教員：益野講師
 ・期間：平成26年6月29日～7月11日
 上海交通大学口腔医学院 学生2名（3年）
 ・引率教員：篠永講師
 ・期間：平成26年7月19日～25日
 シドニー大学歯学部 学生6名（3年4名、4年2名）
 ・引率教員：岡村講師
 ・期間：平成26年8月16日～25日
 コロンビア大学歯学部 学生8名（5年）
 ・引率教員：益野准教授、本田講師
 ・期間：平成27年3月7日～17日

41. 学外活動

1) 教授海外視察

欠損歯列補綴咬合学講座 主任教授 岡崎定司

2) 教員海外研修

歯科矯正学講座 講師 西浦亜紀 共2件

3) 教員海外出張

歯科医学教育開発室 専任教授 王宝禮 共82件

4) 共同研究員受入

北京大学 口腔医学院

児童口腔医学 / 問診部児童口腔科

病院医師 鄭佳佳

受入講座：小児歯科学講座

期間：平成26年4月1日～平成27年3月31日

共4件

5) 国際交流

(1) 中国5大学との共同研究

<受入> 南方医科大学口腔医学院 1名

期間：平成26年11月27日～12月18日

<派遣> 上海交通大学口腔医学院

期間：平成26年11月20日～25日

歯周病学講座 梅田主任教授、田口准教授

口腔インプラント科 馬場専任教授、上村助教

(2) 海外協定校との学生交流

<受入>

コロンビア大学 学生2名

・期間：平成26年4月22日～28日

上海交通大学 学生5名、教員1名

・期間：平成26年7月27日～8月1日

南方医科大学 学生5名、教員1名

・期間：平成26年7月27日～8月2日

台北医学大学 学生4名

・期間：平成26年7月27日～8月2日

シドニー大学 学生4名

・期間：平成26年11月24日～12月3日

<派遣>

四川大学華西口腔医学院 インターナショナルサマー

キャンプ 学生2名（5年）

42. 補助金・助成金

1) 平成26年度大阪歯科大学学術研究奨励助成金交付

（13件） 助成金交付額 3,000,000円

2) 平成26年度大阪歯科大学学術研究奨励資金

4,200,000円（内1,200,000円は、日本私立学校振興・共済事業団より平成26年度学術研究振興資金として交付）
 研究課題

「iPS細胞を用いた広域顎口腔組織欠損再生に向けた基礎的研究」

3) 平成26年度科学研究費補助金交付（文部科学省）

（本文参照）

4) 平成26年度私立大学等経常費補助金交付額

352,139,000円

5) 平成25年度私立大学等研究設備整備費等補助金

（私立大学等研究設備等整備費）

（26年度申請）交付額 15,848,000円

「BDFACSVerse フローサイトメーター 3レーザー 8カラーモデル一式」

6) 平成26年度臨床研修費等補助金交付額

93,756,000円

7) 国際交流助成

歯科矯正学講座 助教 居波薫 共30件に対し、

6,448,714円の助成

8) 寄贈

大阪歯科大学第22回卒業生（甲寅会）300,000円 2件

43. 諸規程

1) 大阪歯科大学学則（一部改正）

2) 共同研究員受入に係る研究料に関する申し合わせ（一部改正）

3) 大阪歯科大学教員評価実施規程（一部改正）

4) 大阪歯科大学カリキュラム委員会規程（一部改正）

5) 名誉教授称号授与に関する規程（一部改正）

（以上 平成26年4月1日付）

6) 大阪歯科大学附属病院病院医員就業規則（一部改正）

（平成26年4月1日付、平成27年3月26日付）

7) 請負契約規程（一部改正）

（平成26年5月29日付）

8) 任期制教員の再任用基準に関する申し合せ（一部改正）

- 9) 教員候補者資格審査に関する申し合わせ (一部改正)
- 10) 留学専攻生の授業料減免に関する内規 (一部改正)
(以上 平成 26 年 7 月 24 日付)
- 11) 大阪歯科大学大学院歯学研究科専攻科教員任用規程 (一部改正)
- 12) 大阪歯科大学教員海外研修規程 (一部改正)
(以上 平成 26 年 8 月 28 日付)
- 13) 大阪歯科大学図書館規程 (一部改正)
- 14) 図書資料選択委員会に関する細則 (一部改正)
- 15) 図書館の利用に関する細則 (一部改正)
- 16) 外部資金による研究補助者の労働者派遣取扱いに関する規程 (施行)
(以上 平成 26 年 9 月 30 日付)
- 17) 学生基礎実習運営連絡検討委員会規程 (施行)
(平成 26 年 10 月 1 日付)
- 18) 学校法人大阪歯科大学自己点検・評価委員会規程 (施行)
- 19) 大阪歯科大学大学院歯学研究科教授候補者審査選出規程 (一部改正)
- 20) 臨床実習連絡委員会規程 (一部改正)
(以上 平成 26 年 10 月 23 日付)
- 21) 大阪歯科大学学内施設使用規程 (一部改正)
(平成 26 年 11 月 27 日付)
- 22) ハラスメントの防止等に関する規程 (施行)
- 23) ハラスメント相談窓口に関する規則 (施行)
- 24) ハラスメントの防止等に関するガイドライン (施行)
(以上 平成 26 年 12 月 26 日付)
- 25) 学校法人大阪歯科大学事務組織及び事務分掌規程 (一部改正)
- 26) 学校法人大阪歯科大学事務組織表 (一部改正)
(以上 平成 27 年 1 月 1 日付)
- 27) 学校法人大阪歯科大学教員の定員等に関する規程 (一部改正)
(平成 27 年 1 月 29 日付)
- 28) 大阪歯科大学学業成績評価に関する規程 (施行)
- 29) 学校法人大阪歯科大学任期付職員就業規則 (一部改正)
- 30) 学校法人大阪歯科大学契約職員就業規則 (一部改正)
- 31) 大阪歯科大学附属病院臨床研修歯科医就業規則 (一部改正)
- 32) 大阪歯科大学附属病院病院医員就業規則 (一部改正)
- 33) 学校法人大阪歯科大学医員就業規則 (施行)
- 34) 大阪歯科大学附属病院医員診療評価規程 (施行)
- 35) 学校法人大阪歯科大学給与規程 (一部改正)
(以上 平成 27 年 3 月 26 日付)

|| 平成 26 年度 監事監査報告

平成 26 年度会計決算にあたり、平成 27 年 5 月 18 日（月）、19 日（火）の 2 日間にわたり監事監査を下記のとおり、楠葉学舎 5 号館 3 階大会議室において実施した。川添理事長より、安定した財政基盤の確立につながる監査が要請された。監査には、本井、古川両監事のほか川添理事長、下村常務理事、田中

常務理事、藤野理事、前田理事、齊藤法人事務局長、亀井大学事務局長、中尾経理部長、牧谷大学事務部長、松村大学管理部長および高須大学企画部長が立ち会った。

平成 26 年度監査の報告は次のとおりである。

平成 27 年 5 月 19 日

平成 26 年度監事監査報告書

学校法人 大阪歯科大学
理 事 長 川添 堯彬 殿

学校法人 大阪歯科大学
監 事 本井 文夫
監 事 古川 壽男

私たちは、私立学校法第 37 条第 3 項及び学校法人大阪歯科大学寄附行為第 13 条の規定に基づき、平成 26 年度（平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日まで）の学校法人の業務、財産の状況及び計算書類等、すなわち事業報告書、資金収支計算書（人件費内訳表を含む）、消費収支計算書、貸借対照表（固定資産明細表、借入金明細表及び基本金明細表を含む）及び財産目録について監査を行った結果、次のとおり報告いたします。

1. 監査方法の概要

私たちは、理事会及び評議員会に出席し、理事からの事業の報告を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧するとともに、会計監査人と連携し、計算書類について検討するなど、必要と思われる監査手続きを実施いたしました。

2. 監査の結果

- (1) 資金収支計算書、消費収支計算書、貸借対照表及び財産目録は、会計帳簿の記載と一致し、法令及び寄附行為に従い、収支状況及び財産状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 理事の業務執行に関しては、不正の行為はなく、かつ、法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実は認められません。

以上

|| 平成 26 年度 決算報告

平成 26 年度決算は、平成 27 年 5 月 28 日に開催された法人理事会で承認され、同日に開催された第 153 回評議員会に報告されました。平成 26 年度決算における「資金収支計算書」、「消費収支計算書」、「貸借対照表」の概要は次のとおりです。

| 平成 26 年度 資金収支計算書 | | | |
|---------------------------------------|-----------------|-----------------|---------------|
| (平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日まで) | | | |
| (単位：円) | | | |
| 収入の部 | | | |
| 科目 | 予算 | 決算 | 差異 |
| 学生生徒等納付金収入 | 4,349,660,000 | 4,293,790,000 | 55,870,000 |
| 手数料収入 | 24,808,000 | 24,531,800 | 276,200 |
| 寄付金収入 | 33,888,000 | 39,996,374 | △ 6,108,374 |
| 補助金収入 | 586,574,000 | 481,918,125 | 104,655,875 |
| 資産運用収入 | 186,513,000 | 197,941,053 | △ 11,428,053 |
| 事業収入 | 2,002,414,000 | 2,116,634,475 | △ 114,220,475 |
| 雑収入 | 485,085,000 | 493,320,296 | △ 8,235,296 |
| 前受金収入 | 477,650,000 | 451,700,000 | 25,950,000 |
| その他の収入 | 1,516,215,000 | 1,578,061,968 | △ 61,846,968 |
| 資金収入調整勘定 | △ 1,115,130,000 | △ 1,189,526,963 | 74,396,963 |
| 小計 | 8,547,677,000 | 8,488,367,128 | 59,309,872 |
| 前年度繰越支払資金 | 3,676,366,394 | 3,676,366,394 | |
| 収入の部合計 | 12,224,043,394 | 12,164,733,522 | 59,309,872 |
| 支出の部 | | | |
| 科目 | 予算 | 決算 | 差異 |
| 人件費支出 | 4,641,635,000 | 4,442,002,353 | 199,632,647 |
| 教育研究経費支出 | 2,034,767,195 | 2,074,763,014 | △ 39,995,819 |
| 管理経費支出 | 463,981,727 | 446,350,497 | 17,631,230 |
| 施設関係支出 | 11,717,000 | 11,414,000 | 303,000 |
| 設備関係支出 | 178,199,972 | 185,781,077 | △ 7,581,105 |
| 資産運用支出 | 1,209,211,000 | 1,185,739,312 | 23,471,688 |
| その他の支出 | 307,973,000 | 316,704,496 | △ 8,731,496 |
| 「予備費」 | (62,887,894) | | |
| | 37,112,106 | | 37,112,106 |
| 資金支出調整勘定 | △ 273,006,000 | △ 279,286,580 | 6,280,580 |
| 小計 | 8,611,591,000 | 8,383,468,169 | 228,122,831 |
| 次年度繰越支払資金 | 3,612,452,394 | 3,781,265,353 | △ 168,812,959 |
| 支出の部合計 | 12,224,043,394 | 12,164,733,522 | 59,309,872 |

1. 平成 26 年度資金収支計算書

資金収支計算書は、当該年度の諸活動に対応する全ての収入および支出ならびに支払資金の収支の顛末を明らかにするものです。

資金収入は、学生生徒等納付金収入、補助金収入、事業収入などの法人に帰属する収入のほか、前受金収入なども含め、84 億

8,836 万円となりました。一方、資金支出は、教職員の人件費、教育研究活動および法人の運営に必要な諸経費、施設、設備関係支出などにより、83 億 8,346 万円となりました。

この結果、収支差引 1 億 490 万円の収入超過となり、次年度繰越支払資金は 37 億 8,126 万円となりました。

平成 26 年度 消費収支計算書

(平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日まで)

(単位：円)

| 消費収入の部 | | | |
|-----------------|----------------|----------------|---------------|
| 科目 | 予 算 | 決 算 | 差 異 |
| 学 生 生 徒 等 納 付 金 | 4,349,660,000 | 4,293,790,000 | 55,870,000 |
| 手 数 料 | 24,808,000 | 24,531,800 | 276,200 |
| 寄 付 金 | 43,888,000 | 48,947,420 | △ 5,059,420 |
| 補 助 金 | 586,574,000 | 481,918,125 | 104,655,875 |
| 資 産 運 用 収 入 | 186,033,000 | 197,461,053 | △ 11,428,053 |
| 事 業 収 入 | 2,002,414,000 | 2,116,634,475 | △ 114,220,475 |
| 雑 収 入 | 485,085,000 | 498,819,296 | △ 13,734,296 |
| 帰属収入合計 | 7,678,462,000 | 7,662,102,169 | 16,359,831 |
| 基本金組入額合計 | △ 1,509,000 | △ 26,973,341 | 25,464,341 |
| 消費収入の部合計 | 7,676,953,000 | 7,635,128,828 | 41,824,172 |
| 消費支出の部 | | | |
| 科目 | 予 算 | 決 算 | 差 異 |
| 人 件 費 | 4,538,930,000 | 4,285,199,674 | 253,730,326 |
| 教 育 研 究 経 費 | 2,589,605,195 | 2,638,418,136 | △ 48,812,941 |
| 管 理 経 費 | 563,115,727 | 546,685,125 | 16,430,602 |
| 資 産 処 分 差 額 | 0 | 13,016,597 | △ 13,016,597 |
| 徴 収 不 能 額 | 0 | 47,961 | △ 47,961 |
| 「 予 備 費 」 | (13,639,922) | | 86,360,078 |
| | 86,360,078 | | |
| 消費支出の部合計 | 7,778,011,000 | 7,483,367,493 | 294,643,507 |
| 当年度消費収入超過額 | 0 | 151,761,335 | |
| 当年度消費支出超過額 | 101,058,000 | 0 | |
| 前年度繰越消費支出超過額 | 19,952,844,833 | 19,952,844,833 | |
| 基本金取崩額 | 102,786,000 | 21,280,647 | |
| 翌年度繰越消費支出超過額 | 19,951,116,833 | 19,779,802,851 | |

2. 平成 26 年度消費収支計算書

消費収支計算書は、資産もしくは用益の消費額（消費支出）とその補填に充当できる収入（消費収入）とを対比し、両者の均衡の有無を明らかにするものです。

帰属収入は、学生生徒等納付金、補助金、事業収入などの法人に帰属する負債とならない収入で、76 億 6,210 万円となりました。また、基本金組入額は 2,697 万円となりましたので、消費

支出に充当することのできる消費収入は 76 億 3,512 万円となりました。一方、消費支出は、教職員の人件費、教育研究活動および法人の運営に必要な諸経費で、74 億 8,336 万円となりました。

この結果、平成 26 年度決算における消費収支は、1 億 5,176 万円の消費収入超過となりました。

貸借対照表

(平成 27 年 3 月 31 日)

(単位：円)

| 資産の部 | | | |
|------------------------|------------------|------------------|---------------|
| 科 目 | 本年度末 | 前年度末 | 増 減 |
| 固定資産 | 54,332,326,840 | 54,535,842,417 | △ 203,515,577 |
| 有形固定資産 | 19,059,559,835 | 19,518,482,008 | △ 458,922,173 |
| その他の固定資産 | 35,272,767,005 | 35,017,360,409 | 255,406,596 |
| 流動資産 | 4,479,875,232 | 4,339,571,038 | 140,304,194 |
| 資産の部合計 | 58,812,202,072 | 58,875,413,455 | △ 63,211,383 |
| 負債の部 | | | |
| 科 目 | 本年度末 | 前年度末 | 増 減 |
| 固定負債 | 4,216,226,380 | 4,374,962,392 | △ 158,736,012 |
| 流動負債 | 1,135,623,910 | 1,218,833,957 | △ 83,210,047 |
| 負債の部合計 | 5,351,850,290 | 5,593,796,349 | △ 241,946,059 |
| 基本金の部 | | | |
| 科 目 | 本年度末 | 前年度末 | 増 減 |
| 第 1 号基本金 | 42,730,105,751 | 42,745,645,059 | △ 15,539,308 |
| 第 3 号基本金 | 29,838,048,882 | 29,816,816,880 | 21,232,002 |
| 第 4 号基本金 | 672,000,000 | 672,000,000 | 0 |
| 基本金の部合計 | 73,240,154,633 | 73,234,461,939 | 5,692,694 |
| 消費収支差額の部 | | | |
| 科 目 | 本年度末 | 前年度末 | 増 減 |
| 翌年度繰越消費支出超過額 | 19,779,802,851 | 19,952,844,833 | △ 173,041,982 |
| 消費収支差額の部合計 | △ 19,779,802,851 | △ 19,952,844,833 | 173,041,982 |
| 科 目 | 本年度末 | 前年度末 | 増 減 |
| 負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計 | 58,812,202,072 | 58,875,413,455 | △ 63,211,383 |

3. 貸借対照表

貸借対照表は、会計年度末時点における財政状況（保有する資産と負債の状況）を表示するものです。

資産の部の合計額は、588億1,220万円となり前年度末に比べ、6,321万円減少しました。これは、固定資産が減価償却等により2億351万円減少した一方、流動資産が1億4,030万円増加したことによるものです。

負債の部は、前年度末比2億4,194万円減少して、53億5,185万円となりました。

基本金の部は前年度末比569万円増加して732億4,015万円となりました。

平成 26 年度 学術研究奨励助成金 (大学院生)

| 課題番号 | 氏名 | 専攻 | 学年 | 研究課題 | 助成額 (円) |
|--------|--------|-----------|----|--|-----------|
| 15-01 | 西五辻 理江 | 薬理学 | 4 | 口腔がん細胞株における薬物排泄が亢進している細胞の遺伝子発現解析 | 300,000 |
| 15-02 | 伊東 優樹 | 有歯補綴咬合学 | 3 | 各種歯冠修復材料およびヒト象牙質に対する低温大気圧プラズマ処理の最適条件 | 237,000 |
| 15-03 | 中川 修佑 | 有歯補綴咬合学 | 3 | ナノジルコニアを用いたコーヌステレスコープクラウンの開発 | 300,000 |
| 15-04 | 山本 真由 | 有歯補綴咬合学 | 3 | アイトラッキングシステムを用いた顔貌写真に対する注視点分析 | 237,000 |
| 15-05 | 三宅 晃子 | 欠損歯列補綴咬合学 | 4 | 新規バイオセンサを利用した口腔内における義歯の汚れの脱着の解析 | 237,000 |
| 15-06 | 岡本 知子 | 口腔外科学第二 | 3 | ヒト滑膜または軟骨由来細胞を用いた三次元培養組織の軟骨分化に対する繰り返し力学負荷による影響 | 237,000 |
| 15-07 | 安井 大樹 | 口腔外科学第二 | 3 | 口腔扁平上皮癌細胞株からの癌幹細胞の分離および性状解析 | 237,000 |
| 15-08 | 李 佩祺 | 歯科矯正学 | 4 | IFN- γ 徐放性骨再生材料の新規開発 | 237,000 |
| 15-09 | 稗田 彩人 | 口腔インプラント学 | 3 | ラット頭蓋冠欠損モデルにポリエーテルエーテルケトン多孔体を移植した骨形成評価 | 237,000 |
| 15-10 | 梅崎 泰之 | 口腔インプラント学 | 4 | ヒト iPS 細胞由来間葉系前駆細胞とポリ乳酸 3 次元担体による顎口腔組織再建 | 237,000 |
| 計 10 件 | | | | | 2,496,000 |

人事

教員採用

| | | |
|-------------|----|------------|
| 歯周病学講座 | 助教 | 嘉藤 弘仁 |
| 有歯補綴咬合学講座 | 助教 | 覺道 昌樹 |
| 欠損歯列補綴咬合学講座 | 助教 | 内藤 大介 |
| 口腔外科学第一講座 | 助教 | 岩井 理恵 |
| 小児歯科学講座 | 助教 | 西村 貴子 |
| | 以上 | H.27.4.1 付 |

昇任

| | | |
|-----------|----|------------|
| 有歯補綴咬合学講座 | 講師 | 鳥井 克典 |
| 歯科矯正学講座 | 講師 | 居波 薫 |
| | 以上 | H.27.4.1 付 |

昇任・所属変更

| | | |
|-------------|----|------------|
| 口腔インプラント学講座 | 講師 | 上村 直也 |
| | | H.27.4.1 付 |

所属変更

| | | |
|-------------|----|------------|
| 口腔インプラント学講座 | 講師 | 新井 是宣 |
| | | H.27.4.1 付 |

再任用

| | | |
|-----------|------|-------|
| 歯科医学教育開発室 | 専任教授 | 王 宝禮 |
| 高齢者歯科学講座 | 准教授 | 高橋 一也 |
| 細菌学講座 | 講師 | 南部 隆之 |
| 歯科保存学講座 | 講師 | 岩田 有弘 |
| 化学教室 | 助教 | 津田 進 |
| 歯周病学講座 | 助教 | 田幡 元 |

総合診療・診断科

助教 樋口 恭子
以上 H.27.4.1 付

大学院教員任用

大学院教授 百田 義弘
大学院助教 馬場 俊輔
以上 篠永 ゆかり
H.27.4.1 付

職員採用

歯科医学教育開発室 事務職員 成海 友在
附属病院 看護師 福岡 玲菜
以上 H.27.4.1 付
附属病院 看護師 村尾 有紀
専門学校事務室 室長 溝本 幸三
以上 H.27.5.1 付

職員登用

教務学生課入試担当 課長補佐 中谷 悟
経理課 事務職員 真田 優子
教務学生課 事務職員 筒井 桃子
以上 H.27.6.1 付

再雇用

総務課人権担当 事務職員 野中登貴男
同窓会事務局 事務職員 西堤 京子
医事課 事務職員 森田 恭生
医事課 事務職員 吐山 寛

| | | | | | |
|-------------------------------------|--------------------------------------|--|------------------------|--|--|
| 附属病院 | 歯科技工士 以上 | 堀内 賢 H.27.4.1 付 | | 山崎 一郎, 野淵 秀孝, 魚住 智子, 森川 勝, 牧井 覚万, 瓦井真貴子, 長澤 成明, 橋本 祐介, 三上 豊, 横田 允宏, 坂井 秀明, 田口 千洋, 松村 好, 藤井 正久, 諸井 英徳, 森本 哲司, 佐古 好正, 吉村 佳博, 小川 清二, 田邊 順一, 山林 一公, 岩本 浩, 貴島真佐子, 家田 靖文, 奥田 教之, 河津 正文, 浅井 拓, 辰野 隆, 安部 逸世, 六本 裕嗣, 西浦 勲 | 山崎 行庸 野淵 秀 石原 信彦 副島 之彦 大槻 榮人 藤田 宏人 重松 雅人 三上 淑子 三上 博子 川野 雅也 中埜 秀史 佐々木 昇 石原 綾子 玉置 敏夫 諸井 香利 松田 純子 大塚 俊裕 安田 康治 澤田 俊雪 赤根 昌樹 林 正純 糸田 昌隆 仲西 健樹 藤原 成樹 大塚 健司 河津 祐之 浅井 勇吾 藤浪 庸介 吉次 良師 岡本 吉宏 |
| 昇進 | | | | | |
| 附属病院 | 歯科技工士主任 | 内藤 徹 H.27.4.1 付 | | | |
| 総務課 | 課長 | 吉村 里美 | | | |
| 大学庶務課 | 課長 | 下田 亮介 | | | |
| 図書課 | 課長 | 南 聡子 | | | |
| 人事課 | 課長補佐 | 山本 晃也 | | | |
| 教務学生課天満橋担当 | 課長補佐 | 西本 敏彦 | | | |
| 大学院課 | 課長補佐 | 山田 市子 | | | |
| 中央歯学研究所 | 課長補佐 | 堀 英明 | | | |
| 総務課 | 主任 | 加奥 奏哉 | | | |
| 人事課 | 主任 | 中井 円 | | | |
| 経理課 | 主任 | 白石 綾子 以上 H.27.6.1 付 | | | |
| 昇進・所属異動 | | | | | |
| 教務学生課入試担当 | 主任 | 栗村 法往 | | | |
| 病院庶務課卒後研修担当 | 主任 | 池田 英子 | | | |
| 医事課 | 主任 | 赤石 孝博 以上 H.27.6.1 付 | | | |
| 所属異動 | | | | | |
| 教育情報センター事務室 | 主任 | 木下誠一郎 | | | |
| 総務課牧野事務室 | 事務職員 | 出水 浩一 | | | |
| 総務課広報担当 | 事務職員 | 成海 友忍 | | | |
| 教務学生課天満橋担当 | 事務職員 | 山岡 忍 | | | |
| 大学庶務課記念館事務室 | 事務職員 | 細川由美子 | | | |
| 図書課 | 事務職員 | 南 やよい | | | |
| 専門学校事務室 | 事務職員 | 渡辺 章子 以上 H.27.6.1 付 | | | |
| 兼務 | | | | | |
| 内部監査室 | 室長 | 下田 亮介 | | | |
| インティビューナル・サーチ (IR) 室 | 室長 | 高須 聡 以上 H.27.6.1 付 | 医員 | | |
| 依願退職 | | | | | |
| 病院庶務課庶務担当 | 事務職員 | 吉福 亜紀 | | | |
| 附属病院 | 看護師 | 山下 恵美 以上 H.27.6.30 付 | | | |
| 委嘱 | | | | | |
| Honorary Visiting Professor 客員教授 | | 吴 补领 北條 博一, 螺良 愛郎, 五十嵐順正, 栗田 賢一 以上 | | 以上 H.27.4.1 付 大申美奈子 H.27.6.1 付 | |
| Visiting Professor | | 朴 榮國, Chitta Ranjan Choudhury 金 岩 申 濟元, 金 麗甲 飯塚 建行, Mark McGurk 李 勝杓, 黄 純徳 以上 | 病院医員 保存修復科 歯内治療科 | 小松 首人, 横田 啓太 松田 有之 木村 貴行, 西川 真耶 荒木 美奈, 雲川 玲子 仲間ひとみ | |
| 客員准教授 | | 好川 正孝 以上 H.27.4.1 付 | 歯周治療科 | 今泉 健太, 那須 誉 本城 佳明, 岡田由里子 辻 早紀, 本多 正直 中塚 雄太, 三上 真由 | |
| 嘱託 臨床心理士 | 辻野 達也, 山田 実子 | 安西 珠希 | 高齢者歯科 | 山西 喬子, 山田佳名子 山根 菜美, 辻本 香織 古井 玲生, 末武 綾 増田 有沙, 福田 俊介 山路 厚, 藤木 傑 江本 菜摘, 岡島 裕梨 吉岡紀代子, 大隅 結耶 寺田 知里 | |
| 楠葉医務室 嘱託医師 医療嘱託 | | 木田 博 | 補綴咬合治療科 (有歯) | | |
| 保険委員会担当 | | 牧野 利彦 | | | |
| 臨床研修管理運営委員会担当 | 若野 正人, 徳永 徹 以上 | 森川 充康 以上 H.27.4.1 付 | 補綴咬合治療科 (欠損) | 吉岡紀代子, 松田彩起子 寺田 知里, 林 輝嘉 柿原 理奈, 河野多香子, 花岡 理佳 河野多香子, 古川ちさと, 西尾 謙宏 中島 章宏, 井奥 雄介, 松永 成葉 | |
| 臨床教授 | 江藤 隆徳, 前田 照太 | 青野 充 | 口腔外科第 1 科 | | |
| 臨床准教授 | 森川 充康, 牧草 一人, 金子 潤平, 小室 節代, | 徳永 徹 河村 達也 小室 甲 小室 寧 | 口腔外科第 2 科 | | |

| | | | | | |
|--|---|---|---|--|---|
| 矯正歯科 | 有山 誠人, 大森 裕子, 田隅 千智, 小野 高尚, 白石 愛湖, 吉田 訓子 | 藤井 智子, 沖田 直也, 長家 茉耶 | 助言教員 | 川島 涉, 和唐 雅博, 吉川 美弘, 真下 千穂, | 中塚美智子, 藤本 哲也, 納富 拓也, 秋山 真理 |
| 小児歯科 | 木下 郁恵, 市丸 裕理, 木下 郁恵 | 永田 幸子 | 第三学年 | | |
| 歯科麻酔科 | 榑田 具美, 門前 光浩, 佐野なるみ, 上谷 雄太, 山本 泰右, 以上 | 越沼 静, 岩見江利華, 久保 美里, 金住 雅彦, 西川 紘甲, 島原 淳, H.27.4.1 付 | 学年指導教授 教育アドバイザー 助言教員 | 王 宝禮, 本田 義知, 南部 隆之, 河井まりこ, 神 光一郎, | 西川 泰央, 益野 一哉, 合田 征司, 松田 哲史, 平野俊一朗, 岡村 友玄 |
| 総合診療・診断科 臨床研修教育科 障がい者歯科 口腔インプラント科 | | | 第四学年 | | |
| ポストドクトラルフェロー 口腔外科学第二 | | 渡辺 昌広, H.27.4.1 付 植木 哲, H.27.4.1 付 辻林 徹 | 学年指導教授 教育アドバイザー 教育アドバイザー(CBT支援) 助言教員 | 王 宝禮, 竹村 明道, 鎌田 愛子, 内橋 賢二, 円山 由郷, | 今井 弘一, 益野 一哉, 西川 哲成, 隈部 俊二, 堂前 英資, 天野 均, 土居 貴士 |
| 治験委員会外部委員 | | 津田 進, 竹村 明道, 藤本 哲也, 岡村 友玄, 納富 拓也, 土居 貴士, 辻 則正, 楠 尊行, 吉峰 茂樹, 松島 由紀, 居波 薫, 阿部 洋子, 澤井 宏文, 菊池 優子, 伊達岡 聖 | 第五学年 | | |
| 図書資料選択委員会委員長代行 図書資料選択委員会委員 | 松原 英一, 平井 悠哉, 中塚美智子, 田村 功, 円山 由郷, 秋山 真理, 宮地 秀彦, 木村 大輔, 大河 貴久, 新井 是宣, 堀井 活子, 蒲生 祥子, 岸本 直隆, 米谷 裕之, 馬場 一泰, 岸本 直子, 以上 | | 学年指導教授 教育アドバイザー 特別アドバイザー | 王 宝禮, 谷本 啓彰, 緒方智壽子, 佐藤 正樹, 山田 耕治, 農端 健輔, 四井 資隆, 上村 直也 | 有田 憲司, 益野 一哉, 辻 則正, 高橋 一也, 吉峰 茂樹, 窪 寛仁, 原田 京子, 修弘 |
| 学内食堂管理運営委員会委員 | 小出 武, 以上 | 森川 良一, H.27.4.1 付 | 第六学年 | | |
| カリキュラム委員会委員長 カリキュラム委員会委員 | 松本 尚之, 池尾 隆, 森田 章介, 藤原 眞一, 梅田 誠, 辻林 徹, 以上 | 前田 博史, 西川 泰央, 山本 一世, 田中 昌博, 有田 憲司, 王 宝禮, H.27.4.1 付 | 学年指導教授 学年副指導教授 教育アドバイザー 特別アドバイザー | 王 宝禮, 戸田 伊紀, 上田 甲寅, 田村 功, 野崎 中成, 川崎 弘二, 井上 博, 橋本 典也, 山中 武志, 大島 浩, 富永 和也, 大草 亘孝, 秋山 広徳, | 梅田 誠, 前田 博史, 益野 一哉, 吉田 匡宏, 田中 順子, 田口洋一郎, 居波 薫, 山本さつき, 松本 和浩, 樋口 裕一, 吉川 一志, 篠永ゆかり, 大西 祐一, 新井 是宣, 岸本 直隆 |
| 共用歯学C B T委員会委員 | 福田あおい, 以上 | 嘉藤 弘仁, H.27.4.1 付 | 既卒者 | 小出 武, 秋山 広徳, 以上 | 田中 昌博, 田中 昭男, 田中 順子, H.27.4.1 付 |
| ブラッシュアップ委員会委員長 ブラッシュアップ委員会委員 | 山田 耕治, 西崎 宏, 牧田 佳真, 以上 | 橋本 典也, 有馬 良幸, H.27.4.1 付 | 大阪歯科大学附属病院歯科医師臨床研修プログラム | | |
| 第一学年 | | | 総括責任者 副総括責任者 院内研修担当者部会長 院外研修担当者部会長 保存系責任者 補綴系責任者 口腔外科系責任者 単独型プログラム責任者 複合型プログラム責任者 単独型副プログラム責任者 複合型副プログラム責任者 | 森田 章介, | 覚道 健治, 山本 一世, 梅田 誠, 岡崎 定司, 梅田 誠, 岡崎 定司, 森田 章介, 紺井 拡隆, 松本 尚之, 小川 文也, 至田 宗泰, 高橋 一也, 西崎 宏, 大西 祐一 |
| 第二学年 | | | | 岩田 有弘, 河野 智生, 楠本 哲次, 松本 和浩, | |

指導歯科医 (単独型)

有馬 良幸, 古跡 孝和
 原田 京子, 加藤 裕彦
 新井 是宣, 米田 護
 大井 治正, 北野 忠則
 菊池 優子, 吉川 一志
 岩田 有弘, 吉田 匡宏
 至田 宗泰, 民上 良将
 河野 智生, 高橋 一也
 柿本 和俊, 楠本 哲次
 鳥井 克典, 西崎 宏
 吉峰 茂樹, 松本 和浩
 大西 祐一, 有馬 良幸
 古跡 孝和, 原田 京子
 加藤 裕彦, 新井 是宣
 小出 武, 米田 護
 吉川 一志, 谷本 啓彰
 竹内 撰, 恩田 康平
 保尾 謙三, 宮地 秀彦
 前田 博史, 吉田 匡宏
 西川 郁夫, 池永 英彰
 稲本 雄之, 辻 則正
 田口洋一郎, 緒方智壽子
 民上 良将, 高橋 貫之
 樋口 裕一, 柿本 和俊
 小野 圭昭, 井上 太郎
 渋谷 友美, 楠 尊行
 田中 昌博, 田中 順子
 佐藤 正樹, 鳥井 克典
 藤井 孝政, 大河 貴久
 向井 憲夫, 兼平 治和
 吉峰 茂樹, 山本さつき
 前田 武志, 小正 聡
 坂井 大吾, 内藤 大介
 井関 富雄, 吉田 博昭
 山田 耕治, 福田あおい
 松島 由紀, 岩井 理恵
 辻 要, 窪 寛仁
 蠅庭 秀也, 堀井 活子
 吉本 仁, 正重 裕一
 居波 薫, 坂井 加奈
 農端 健輔, 安井憲一郎
 板垣 恵輔, 四井 資隆
 蒲生 祥子, 秋山 広徳
 大東 希好, 篠永ゆかり
 阿部 洋子, 園本 美恵
 人見さよ子, 河合 咲希
 佐久間泰司, 岸本 直隆
 上村 直也, 山田 裕
 金平裕久美, 小出 武
 米谷 裕之, 辻 一起子
 辰巳 浩隆, 大西 明雄
 谷岡 款相, 樋口 恭子
 以上 H.27.4.1 付

指導歯科医 (複合型)

清水 孝治, 中村 雅彦
 江原 雄二, 中道 哲
 牧草 一人, 藤原 成樹
 松川 信夫, 中辻 勇志
 池 宏海, 田中 毅彦
 大野久美子, 江原 大輔
 安田久理人, 黒木 克哉
 守下 綾香, 山本 洋幸
 荻田 雄紀, 椿井 孝芳
 松田 哲一, 富永 康彦
 藤原 太郎, 三上 淑子
 脇坂 聡,

生理学講座

三上 博子, 朴 榮錫
 黄 宏智, 三上 豊
 安 春英, 朱 成淑
 榎村 光仁, 長谷川彰則
 高井 規安, 小山 なつ
 吉村 佳博, 岩崎 精彦
 宮尾 治樹, 村上 浩孝
 岩住 征紀, 森 明彦
 大塚 俊裕, 田中 一弘
 吉野修一郎, 辻 洋一

生化学講座

諏訪部 武 畑下 芳史
 長澤 成明, 小坂 広之
 高石 佳知, 小坂 雅夫
 高屋 毅史, 中川 雅巳
 伊東 禎雄, 倉阪 雅巳
 有山金一郎, 岩佐 勝也
 田中 義人, 天方 靖治
 前田潤一郎, 上野 眞徳
 逸崎 宏, 野口 薫
 山形 栄二, 田邊 順一
 松井 正剛, 川口 佳夫
 武田 良一, 東浦 宏守
 和田 聖二, 河原 康二
 佐久間 勲, 筒井 淳
 西村 泰典, 畑 慎太郎
 堀 晋作, 田中 淳司
 段 充, 川崎 昌英
 長尾 優, 辻本 憲吾

口腔病理学講座

山本 範子, 吉竹 弘行
 松野 吉晃, 小幡 登
 廣畑 顕一, 森 直樹
 石原 研, 水川 健司
 西川 博之, 加藤 秀治
 西村 耕一, 石田 哲也
 河合 高弘, 佐川 寛一
 柳瀬 香, 水野 博之
 藤本 幸永, 安岡 大志

細菌学講座

山本 範子, 吉竹 弘行
 松野 吉晃, 小幡 登
 廣畑 顕一, 森 直樹
 石原 研, 水川 健司
 西川 博之, 加藤 秀治
 西村 耕一, 石田 哲也
 河合 高弘, 佐川 寛一
 柳瀬 香, 水野 博之
 藤本 幸永, 安岡 大志

薬理学講座

大草 修, 岡本 卓士
 九門 好彦, 井上 博明
 吉岡 三四, 宮田 敏生
 坂本 伸人, 武内信二郎
 高山 昭則, 河野 元一
 村川 昇, 狭川 正
 林 昭典, 野阪ひとみ
 日高 厚, 岩本 一哉
 川原 大, 三浦 康伸
 森口 泰成, 上田 明博
 寛 晋平, 善入 雅之
 吉田 貴光

歯科理工学講座

白石 雅照, 野村 一夫
 尾辻 淳, 藤井 由希
 中川 哲也, 森野与史緒
 村田 省三, 井上 富夫
 小林 正憲, 岡村 伸江
 奥村 信, 日吉 紀子
 伊津 元博, 平塚 靖規
 生内 信男, 高島隆太郎
 田中 秀直
 井上 昌孝, 谷 哲
 南 昌宏, 藤原 秀樹
 三木 秀治, 河村 昌哲
 藤田 昌弘, 吉原 正晃
 妻野 純朗, 廣瀬 泰明
 砂田 和久, 廣瀬沙耶佳

口腔衛生学講座

歯科保存学講座

講師 (非常勤) 委嘱

解剖学講座

口腔解剖学講座

| | | | | | | | | | | | | |
|-------------|---|--|--|--|---------|----------|---------|---------|-------|--|--|---|
| 口腔治療学講座 | 林原 久盛, 白石 充, 初岡 昌憲, 西田 尚敬, 細見 環, 巖 恭輔, 寺田 行男, 薄 喜彦, 木村 一郎, 辻 宏之, 堀 容規, 下村 智広, 藤平 良之, 堀 範典, 本城 健司, 大塚 正純, 寺西 義浩, 釜谷 晋平, 松田 正文, 丹田 博巳, 上田 実果, 奥田麻貴子, 南堂 百映, 伊崎 克弥, 田中 球生, 右遠 英悟, 芦田 貴司, 浅井 崇嗣, 氷見 彰敏, 岩山 和史, 上杉 直斗, 吉岡 正隆, 廣田 秀逸 | 岩本 圭司, 大前 正範, 鈴木康一郎, 熊崎 真義, 速水 茂, 上村 学, 金村 成智, 逸見 浩史, 上田 佳世, 吉川 伸, 松田 孝之, 柿木 栄幸, 加藤 侑, 敷内 崇督, 神田 浩, 和泉 雄一, 英保 武志, 岡西 裕公, 中垣 直毅, 福永 剛士, 小池 敏克, 重松 伸寛, 片山 暢仁, 森田 浩正, 大槻 榮人, 原 佳代子, 額田 和門, 北山 展弘, 上田 章浩, 藤岡宗之輔, 西岡 良子, 亀水 忠宗, 辻本 香織 | 杉立 光史, 郷 真奈武, 鹿野 学, 岩崎 春美, 阪本 貴司, 森 悠衣, 森下 寛史, 中村 裕, 大浦 寿哉, 高橋 啓, 山田 尋士, 飯田 拓二, 岡林 聰, 蓮舎 寛樹, 荒垣 芳元, 林 和男, 永田 雄己, 穴戸 美香, 川植 康史, 釜田 博史, 坂本 健吾, 青木 秀哲, 池本 博之, 大道 土郎, 梶本祐一郎, 佐伯 克彦, 中村 弘之, 原 直仁, 深尾 正, 塚本 幸子, 竹安 正治, 赤塚 正文, 足立 了平, 内海 潤, 姜 由紀, 安留 輝之, 孫 弘樹, 安東 大器, 徳永 敦, 安東佳代子, 水本 一弘, 岡崎 俊朗, 米田 修, 奥田 恵子, 原川 奈梨, 森口久美子, | 柚木 大和, 林 秀一, 山崎 行庸, 濱本 和彦, 本橋 具和, 山本 浩貴, 井上 雅裕, 後藤 基宏, 中川 学, 大矢 卓志, 大塚 重雄, 関 詔夫, 本田 領, 山本 昌宏, 太田千佳子, 上杉 美香, 片尾 祐子, 廖 文, 松本 義之, 川崎 靖典, 林 靖久 | 歯科矯正学講座 | 歯科放射線学講座 | 小児歯科学講座 | 歯科麻酔学講座 | 内科学講座 | 講座教室外 医療人のための文章表現 心理学 上級会話・リスニング ドイツ語 社会学 基礎情報科学 精神科 体育実技 物理学実験 / 情報科学 美術 数学 皮膚科学 小児科学 外科学 医療統計学 物理学 | 石井 信行, 大谷 敬三, 嘉ノ海龍三, 大東 美穂, 瀨田 義彦, 松尾 博之, 中野 智子, 池尾元三朗, 山下 智章, 河合 峰雄, 水野 誠, 釜田 隆, 松田 佳子, 弘兼 素子, 杉岡 伸悟, 大草 知佳, 越沼 静, 柴田 啓貴, 梅原 久範, 薬師寺健太郎, 宮地 理彦, 金下 祐己, 長野 豊 | 石黒 義昭, 高橋 伸彰, Eric Schoenbrun, Bernard MacMuge, 武田 良材, 神竹 道士, 平 英美, 野村 孝久, 阿部 尚己, 小芝 裕也, 瀧本 真信, 秋山 真信, 守安 毅, 柿本 真音, 柿本 香, 及川 美沙, 清原 隆宏, 森 淳秀, 谷村 裕嗣, 辻 章志, 杉江 知治, 山下 哲平, 住 淳一 |
| 歯周病学講座 | 奥田 麻貴子, 南堂 百映, 伊崎 克弥, 田中 球生, 右遠 英悟, 芦田 貴司, 浅井 崇嗣, 氷見 彰敏, 岩山 和史, 上杉 直斗, 吉岡 正隆, 廣田 秀逸, 水井 雅則, 長砂 孝, 仲西 健樹, 今井 敦子, 佐古 好正, 朴 康鉦, 疋田 陽造, 朴 燦眞, 橋本 睦都, 池田 直也, 河村 達也, 三谷 徹, 奥田 啓之, 呉本 晃一, 島谷 肇, 岡本 吉宏, 田村 佳則, 江藤 隆仁, 岩田 光生, 中島 康, 島 盛隆, 大杉 泰敏, 佐々木 昇, 小渕 匡清, 卞 勝人, 木下 智, 小川裕美子, 紙谷 仁之, 渡邊 信也, 竹山 旭, 仁木 寛, 角熊 雅彦, | 柳田 昌宏, 徳永 徹, 田中 誠也, 上田 直克, 木村 公一, 林 明輝, 鷹尾 智典, 岡崎 全宏, 藤井 隆晶, 恩地 良幸, 嶋村 清次, 吉峰美千代, 西川 敏文, 藤原 到, 吉川 洋史, 上り口晃成, 小林 将之, 土居 聖, 深瀬 亜希, 野坂 泰弘, 大石 建三, 栗林 信仁, 中川 誠仁, 植野 茂, 黒田 卓, 松本 康宏, 白尾浩太郎, 松田彩起子, 伊藤 友彦, 山田 康嗣, 有家 巧, 赤根 昌樹 | 池本 博之, 大道 土郎, 梶本祐一郎, 佐伯 克彦, 中村 弘之, 原 直仁, 深尾 正, 塚本 幸子, 竹安 正治, 赤塚 正文, 足立 了平, 内海 潤, 姜 由紀, 安留 輝之, 孫 弘樹, 安東 大器, 徳永 敦, 安東佳代子, 水本 一弘, 岡崎 俊朗, 米田 修, 奥田 恵子, 原川 奈梨, 森口久美子, | 石井 信行, 大谷 敬三, 嘉ノ海龍三, 大東 美穂, 瀨田 義彦, 松尾 博之, 中野 智子, 池尾元三朗, 山下 智章, 河合 峰雄, 水野 誠, 釜田 隆, 松田 佳子, 弘兼 素子, 杉岡 伸悟, 大草 知佳, 越沼 静, 柴田 啓貴, 梅原 久範, 薬師寺健太郎, 宮地 理彦, 金下 祐己, 長野 豊 | 歯科矯正学講座 | 歯科放射線学講座 | 小児歯科学講座 | 歯科麻酔学講座 | 内科学講座 | 講座教室外 医療人のための文章表現 心理学 上級会話・リスニング ドイツ語 社会学 基礎情報科学 精神科 体育実技 物理学実験 / 情報科学 美術 数学 皮膚科学 小児科学 外科学 医療統計学 物理学 | 石井 信行, 大谷 敬三, 嘉ノ海龍三, 大東 美穂, 瀨田 義彦, 松尾 博之, 中野 智子, 池尾元三朗, 山下 智章, 河合 峰雄, 水野 誠, 釜田 隆, 松田 佳子, 弘兼 素子, 杉岡 伸悟, 大草 知佳, 越沼 静, 柴田 啓貴, 梅原 久範, 薬師寺健太郎, 宮地 理彦, 金下 祐己, 長野 豊 | |
| 高齢者歯科学講座 | 奥田 麻貴子, 南堂 百映, 伊崎 克弥, 田中 球生, 右遠 英悟, 芦田 貴司, 浅井 崇嗣, 氷見 彰敏, 岩山 和史, 上杉 直斗, 吉岡 正隆, 廣田 秀逸, 水井 雅則, 長砂 孝, 仲西 健樹, 今井 敦子, 佐古 好正, 朴 康鉦, 疋田 陽造, 朴 燦眞, 橋本 睦都, 池田 直也, 河村 達也, 三谷 徹, 奥田 啓之, 呉本 晃一, 島谷 肇, 岡本 吉宏, 田村 佳則, 江藤 隆仁, 岩田 光生, 中島 康, 島 盛隆, 大杉 泰敏, 佐々木 昇, 小渕 匡清, 卞 勝人, 木下 智, 小川裕美子, 紙谷 仁之, 渡邊 信也, 竹山 旭, 仁木 寛, 角熊 雅彦, | 柳田 昌宏, 徳永 徹, 田中 誠也, 上田 直克, 木村 公一, 林 明輝, 鷹尾 智典, 岡崎 全宏, 藤井 隆晶, 恩地 良幸, 嶋村 清次, 吉峰美千代, 西川 敏文, 藤原 到, 吉川 洋史, 上り口晃成, 小林 将之, 土居 聖, 深瀬 亜希, 野坂 泰弘, 大石 建三, 栗林 信仁, 中川 誠仁, 植野 茂, 黒田 卓, 松本 康宏, 白尾浩太郎, 松田彩起子, 伊藤 友彦, 山田 康嗣, 有家 巧, 赤根 昌樹 | 池本 博之, 大道 土郎, 梶本祐一郎, 佐伯 克彦, 中村 弘之, 原 直仁, 深尾 正, 塚本 幸子, 竹安 正治, 赤塚 正文, 足立 了平, 内海 潤, 姜 由紀, 安留 輝之, 孫 弘樹, 安東 大器, 徳永 敦, 安東佳代子, 水本 一弘, 岡崎 俊朗, 米田 修, 奥田 恵子, 原川 奈梨, 森口久美子, | 石井 信行, 大谷 敬三, 嘉ノ海龍三, 大東 美穂, 瀨田 義彦, 松尾 博之, 中野 智子, 池尾元三朗, 山下 智章, 河合 峰雄, 水野 誠, 釜田 隆, 松田 佳子, 弘兼 素子, 杉岡 伸悟, 大草 知佳, 越沼 静, 柴田 啓貴, 梅原 久範, 薬師寺健太郎, 宮地 理彦, 金下 祐己, 長野 豊 | 歯科矯正学講座 | 歯科放射線学講座 | 小児歯科学講座 | 歯科麻酔学講座 | 内科学講座 | 講座教室外 医療人のための文章表現 心理学 上級会話・リスニング ドイツ語 社会学 基礎情報科学 精神科 体育実技 物理学実験 / 情報科学 美術 数学 皮膚科学 小児科学 外科学 医療統計学 物理学 | 石井 信行, 大谷 敬三, 嘉ノ海龍三, 大東 美穂, 瀨田 義彦, 松尾 博之, 中野 智子, 池尾元三朗, 山下 智章, 河合 峰雄, 水野 誠, 釜田 隆, 松田 佳子, 弘兼 素子, 杉岡 伸悟, 大草 知佳, 越沼 静, 柴田 啓貴, 梅原 久範, 薬師寺健太郎, 宮地 理彦, 金下 祐己, 長野 豊 | |
| 有歯補綴咬合学講座 | 水井 雅則, 長砂 孝, 仲西 健樹, 今井 敦子, 佐古 好正, 朴 康鉦, 疋田 陽造, 朴 燦眞, 橋本 睦都, 池田 直也, 河村 達也, 三谷 徹, 奥田 啓之, 呉本 晃一, 島谷 肇, 岡本 吉宏, 田村 佳則, 江藤 隆仁, 岩田 光生, 中島 康, 島 盛隆, 大杉 泰敏, 佐々木 昇, 小渕 匡清, 卞 勝人, 木下 智, 小川裕美子, 紙谷 仁之, 渡邊 信也, 竹山 旭, 仁木 寛, 角熊 雅彦, | 柳田 昌宏, 徳永 徹, 田中 誠也, 上田 直克, 木村 公一, 林 明輝, 鷹尾 智典, 岡崎 全宏, 藤井 隆晶, 恩地 良幸, 嶋村 清次, 吉峰美千代, 西川 敏文, 藤原 到, 吉川 洋史, 上り口晃成, 小林 将之, 土居 聖, 深瀬 亜希, 野坂 泰弘, 大石 建三, 栗林 信仁, 中川 誠仁, 植野 茂, 黒田 卓, 松本 康宏, 白尾浩太郎, 松田彩起子, 伊藤 友彦, 山田 康嗣, 有家 巧, 赤根 昌樹 | 池本 博之, 大道 土郎, 梶本祐一郎, 佐伯 克彦, 中村 弘之, 原 直仁, 深尾 正, 塚本 幸子, 竹安 正治, 赤塚 正文, 足立 了平, 内海 潤, 姜 由紀, 安留 輝之, 孫 弘樹, 安東 大器, 徳永 敦, 安東佳代子, 水本 一弘, 岡崎 俊朗, 米田 修, 奥田 恵子, 原川 奈梨, 森口久美子, | 石井 信行, 大谷 敬三, 嘉ノ海龍三, 大東 美穂, 瀨田 義彦, 松尾 博之, 中野 智子, 池尾元三朗, 山下 智章, 河合 峰雄, 水野 誠, 釜田 隆, 松田 佳子, 弘兼 素子, 杉岡 伸悟, 大草 知佳, 越沼 静, 柴田 啓貴, 梅原 久範, 薬師寺健太郎, 宮地 理彦, 金下 祐己, 長野 豊 | 歯科矯正学講座 | 歯科放射線学講座 | 小児歯科学講座 | 歯科麻酔学講座 | 内科学講座 | 講座教室外 医療人のための文章表現 心理学 上級会話・リスニング ドイツ語 社会学 基礎情報科学 精神科 体育実技 物理学実験 / 情報科学 美術 数学 皮膚科学 小児科学 外科学 医療統計学 物理学 | 石井 信行, 大谷 敬三, 嘉ノ海龍三, 大東 美穂, 瀨田 義彦, 松尾 博之, 中野 智子, 池尾元三朗, 山下 智章, 河合 峰雄, 水野 誠, 釜田 隆, 松田 佳子, 弘兼 素子, 杉岡 伸悟, 大草 知佳, 越沼 静, 柴田 啓貴, 梅原 久範, 薬師寺健太郎, 宮地 理彦, 金下 祐己, 長野 豊 | |
| 欠損歯列補綴咬合学講座 | 池田 直也, 河村 達也, 三谷 徹, 奥田 啓之, 呉本 晃一, 島谷 肇, 岡本 吉宏, 田村 佳則, 江藤 隆仁, 岩田 光生, 中島 康, 島 盛隆, 大杉 泰敏, 佐々木 昇, 小渕 匡清, 卞 勝人, 木下 智, 小川裕美子, 紙谷 仁之, 渡邊 信也, 竹山 旭, 仁木 寛, 角熊 雅彦, | 柳田 昌宏, 徳永 徹, 田中 誠也, 上田 直克, 木村 公一, 林 明輝, 鷹尾 智典, 岡崎 全宏, 藤井 隆晶, 恩地 良幸, 嶋村 清次, 吉峰美千代, 西川 敏文, 藤原 到, 吉川 洋史, 上り口晃成, 小林 将之, 土居 聖, 深瀬 亜希, 野坂 泰弘, 大石 建三, 栗林 信仁, 中川 誠仁, 植野 茂, 黒田 卓, 松本 康宏, 白尾浩太郎, 松田彩起子, 伊藤 友彦, 山田 康嗣, 有家 巧, 赤根 昌樹 | 池本 博之, 大道 土郎, 梶本祐一郎, 佐伯 克彦, 中村 弘之, 原 直仁, 深尾 正, 塚本 幸子, 竹安 正治, 赤塚 正文, 足立 了平, 内海 潤, 姜 由紀, 安留 輝之, 孫 弘樹, 安東 大器, 徳永 敦, 安東佳代子, 水本 一弘, 岡崎 俊朗, 米田 修, 奥田 恵子, 原川 奈梨, 森口久美子, | 石井 信行, 大谷 敬三, 嘉ノ海龍三, 大東 美穂, 瀨田 義彦, 松尾 博之, 中野 智子, 池尾元三朗, 山下 智章, 河合 峰雄, 水野 誠, 釜田 隆, 松田 佳子, 弘兼 素子, 杉岡 伸悟, 大草 知佳, 越沼 静, 柴田 啓貴, 梅原 久範, 薬師寺健太郎, 宮地 理彦, 金下 祐己, 長野 豊 | 歯科矯正学講座 | 歯科放射線学講座 | 小児歯科学講座 | 歯科麻酔学講座 | 内科学講座 | 講座教室外 医療人のための文章表現 心理学 上級会話・リスニング ドイツ語 社会学 基礎情報科学 精神科 体育実技 物理学実験 / 情報科学 美術 数学 皮膚科学 小児科学 外科学 医療統計学 物理学 | 石井 信行, 大谷 敬三, 嘉ノ海龍三, 大東 美穂, 瀨田 義彦, 松尾 博之, 中野 智子, 池尾元三朗, 山下 智章, 河合 峰雄, 水野 誠, 釜田 隆, 松田 佳子, 弘兼 素子, 杉岡 伸悟, 大草 知佳, 越沼 静, 柴田 啓貴, 梅原 久範, 薬師寺健太郎, 宮地 理彦, 金下 祐己, 長野 豊 | |
| 口腔インプラント学講座 | 岩田 光生, 中島 康, 島 盛隆, 大杉 泰敏, 佐々木 昇, 小渕 匡清, 卞 勝人, 木下 智, 小川裕美子, 紙谷 仁之, 渡邊 信也, 竹山 旭, 仁木 寛, 角熊 雅彦, | 柳田 昌宏, 徳永 徹, 田中 誠也, 上田 直克, 木村 公一, 林 明輝, 鷹尾 智典, 岡崎 全宏, 藤井 隆晶, 恩地 良幸, 嶋村 清次, 吉峰美千代, 西川 敏文, 藤原 到, 吉川 洋史, 上り口晃成, 小林 将之, 土居 聖, 深瀬 亜希, 野坂 泰弘, 大石 建三, 栗林 信仁, 中川 誠仁, 植野 茂, 黒田 卓, 松本 康宏, 白尾浩太郎, 松田彩起子, 伊藤 友彦, 山田 康嗣, 有家 巧, 赤根 昌樹 | 池本 博之, 大道 土郎, 梶本祐一郎, 佐伯 克彦, 中村 弘之, 原 直仁, 深尾 正, 塚本 幸子, 竹安 正治, 赤塚 正文, 足立 了平, 内海 潤, 姜 由紀, 安留 輝之, 孫 弘樹, 安東 大器, 徳永 敦, 安東佳代子, 水本 一弘, 岡崎 俊朗, 米田 修, 奥田 恵子, 原川 奈梨, 森口久美子, | 石井 信行, 大谷 敬三, 嘉ノ海龍三, 大東 美穂, 瀨田 義彦, 松尾 博之, 中野 智子, 池尾元三朗, 山下 智章, 河合 峰雄, 水野 誠, 釜田 隆, 松田 佳子, 弘兼 素子, 杉岡 伸悟, 大草 知佳, 越沼 静, 柴田 啓貴, 梅原 久範, 薬師寺健太郎, 宮地 理彦, 金下 祐己, 長野 豊 | 歯科矯正学講座 | 歯科放射線学講座 | 小児歯科学講座 | 歯科麻酔学講座 | 内科学講座 | 講座教室外 医療人のための文章表現 心理学 上級会話・リスニング ドイツ語 社会学 基礎情報科学 精神科 体育実技 物理学実験 / 情報科学 美術 数学 皮膚科学 小児科学 外科学 医療統計学 物理学 | 石井 信行, 大谷 敬三, 嘉ノ海龍三, 大東 美穂, 瀨田 義彦, 松尾 博之, 中野 智子, 池尾元三朗, 山下 智章, 河合 峰雄, 水野 誠, 釜田 隆, 松田 佳子, 弘兼 素子, 杉岡 伸悟, 大草 知佳, 越沼 静, 柴田 啓貴, 梅原 久範, 薬師寺健太郎, 宮地 理彦, 金下 祐己, 長野 豊 | |
| 口腔外科学第一講座 | 中島 康, 島 盛隆, 大杉 泰敏, 佐々木 昇, 小渕 匡清, 卞 勝人, 木下 智, 小川裕美子, 紙谷 仁之, 渡邊 信也, 竹山 旭, 仁木 寛, 角熊 雅彦, | 柳田 昌宏, 徳永 徹, 田中 誠也, 上田 直克, 木村 公一, 林 明輝, 鷹尾 智典, 岡崎 全宏, 藤井 隆晶, 恩地 良幸, 嶋村 清次, 吉峰美千代, 西川 敏文, 藤原 到, 吉川 洋史, 上り口晃成, 小林 将之, 土居 聖, 深瀬 亜希, 野坂 泰弘, 大石 建三, 栗林 信仁, 中川 誠仁, 植野 茂, 黒田 卓, 松本 康宏, 白尾浩太郎, 松田彩起子, 伊藤 友彦, 山田 康嗣, 有家 巧, 赤根 昌樹 | 池本 博之, 大道 土郎, 梶本祐一郎, 佐伯 克彦, 中村 弘之, 原 直仁, 深尾 正, 塚本 幸子, 竹安 正治, 赤塚 正文, 足立 了平, 内海 潤, 姜 由紀, 安留 輝之, 孫 弘樹, 安東 大器, 徳永 敦, 安東佳代子, 水本 一弘, 岡崎 俊朗, 米田 修, 奥田 恵子, 原川 奈梨, 森口久美子, | 石井 信行, 大谷 敬三, 嘉ノ海龍三, 大東 美穂, 瀨田 義彦, 松尾 博之, 中野 智子, 池尾元三朗, 山下 智章, 河合 峰雄, 水野 誠, 釜田 隆, 松田 佳子, 弘兼 素子, 杉岡 伸悟, 大草 知佳, 越沼 静, 柴田 啓貴, 梅原 久範, 薬師寺健太郎, 宮地 理彦, 金下 祐己, 長野 豊 | 歯科矯正学講座 | 歯科放射線学講座 | 小児歯科学講座 | 歯科麻酔学講座 | 内科学講座 | 講座教室外 医療人のための文章表現 心理学 上級会話・リスニング ドイツ語 社会学 基礎情報科学 精神科 体育実技 物理学実験 / 情報科学 美術 数学 皮膚科学 小児科学 外科学 医療統計学 物理学 | 石井 信行, 大谷 敬三, 嘉ノ海龍三, 大東 美穂, 瀨田 義彦, 松尾 博之, 中野 智子, 池尾元三朗, 山下 智章, 河合 峰雄, 水野 誠, 釜田 隆, 松田 佳子, 弘兼 素子, 杉岡 伸悟, 大草 知佳, 越沼 静, 柴田 啓貴, 梅原 久範, 薬師寺健太郎, 宮地 理彦, 金下 祐己, 長野 豊 | |
| 口腔外科学第二講座 | 仁木 寛, 角熊 雅彦, | 柳田 昌宏, 徳永 徹, 田中 誠也, 上田 直克, 木村 公一, 林 明輝, 鷹尾 智典, 岡崎 全宏, 藤井 隆晶, 恩地 良幸, 嶋村 清次, 吉峰美千代, 西川 敏文, 藤原 到, 吉川 洋史, 上り口晃成, 小林 将之, 土居 聖, 深瀬 亜希, 野坂 泰弘, 大石 建三, 栗林 信仁, 中川 誠仁, 植野 茂, 黒田 卓, 松本 康宏, 白尾浩太郎, 松田彩起子, 伊藤 友彦, 山田 康嗣, 有家 巧, 赤根 昌樹 | 池本 博之, 大道 土郎, 梶本祐一郎, 佐伯 克彦, 中村 弘之, 原 直仁, 深尾 正, 塚本 幸子, 竹安 正治, 赤塚 正文, 足立 了平, 内海 潤, 姜 由紀, 安留 輝之, 孫 弘樹, 安東 大器, 徳永 敦, 安東佳代子, 水本 一弘, 岡崎 俊朗, 米田 修, 奥田 恵子, 原川 奈梨, 森口久美子, | 石井 信行, 大谷 敬三, 嘉ノ海龍三, 大東 美穂, 瀨田 義彦, 松尾 博之, 中野 智子, 池尾元三朗, 山下 智章, 河合 峰雄, 水野 誠, 釜田 隆, 松田 佳子, 弘兼 素子, 杉岡 伸悟, 大草 知佳, 越沼 静, 柴田 啓貴, 梅原 久範, 薬師寺健太郎, 宮地 理彦, 金下 祐己, 長野 豊 | 歯科矯正学講座 | 歯科放射線学講座 | 小児歯科学講座 | 歯科麻酔学講座 | 内科学講座 | 講座教室外 医療人のための文章表現 心理学 上級会話・リスニング ドイツ語 社会学 基礎情報科学 精神科 体育実技 物理学実験 / 情報科学 美術 数学 皮膚科学 小児科学 外科学 医療統計学 物理学 | 石井 信行, 大谷 敬三, 嘉ノ海龍三, 大東 美穂, 瀨田 義彦, 松尾 博之, 中野 智子, 池尾元三朗, 山下 智章, 河合 峰雄, 水野 誠, 釜田 隆, 松田 佳子, 弘兼 素子, 杉岡 伸悟, 大草 知佳, 越沼 静, 柴田 啓貴, 梅原 久範, 薬師寺健太郎, 宮地 理彦, 金下 祐己, 長野 豊 | |

兼担者

眼科学
耳鼻科

岸本 直子
馬場 一泰

以上 H.27.4.1 付

上級会話・リスニング

Kieran Green
H.27.6.1 付

大学院歯学研究科

口腔解剖学
歯科保存学

乾 千珠子, 金 志延
小松 首人

以上 H.27.4.1 付

歯科技工士専門学校講師 (非常勤)

長家 秀博, 瀧本 真己
佐ノ木幸夫, 藤田 淳一
吉田 隆志, 今井 弘一
大島 浩, 橋本 典也
都賀谷紀宏, 山添 正稔
竹村 明道, 戸田 伊紀
上村 守, 隈部 俊二
中塚美智子, 飯田 慈子
藤原 眞一, 岡村 英幸
檜 則章, 李 嘉永
西川 泰央, 内橋 賢二
池尾 隆, 田中 昭男
山中 武志, 円山 由郷
川崎 弘二, 田中 昌博
田中 順子, 楠本 哲次
佐藤 正樹, 鳥井 克典
馬場 俊輔, 山田 裕
佐藤 琢也, 岡崎 定司
西崎 宏, 前田 武志
小正 裕, 高橋 一也
井上 太郎, 松本 尚之
飯田 拓二, 有田 憲司
阿部 洋子, 山本 一世
宮地 秀彦, 清水谷公成
森田 章介, 覚道 健治
百田 義弘, 岸本 直隆
山下 恒彦, 方 一如
王 宝禮, 高橋 恵美
中島 賢, 森下 裕司
畠中 利英, 中野田紳一
齋藤 俊文, 武森 政文
中辻 孝一, 西村 元彦
林 美己, 東 宗秀
弓場 信三, 内藤 徹

以上 H.27.4.1 付

歯科衛生士専門学校講師 (非常勤)

岡村 英幸, 平井 悠哉
藤原 眞一, 飯田 慈子
檜 則章, 李 嘉永
中前 純治, 石黒 義昭
谷 康平, 佐ノ木幸夫
藤田 淳一, 長家 秀博
瀧本 真己, 竹村 明道
戸田 伊紀, 上村 守
西川 泰央, 内橋 賢二
池尾 隆, 鎌田 愛子
田村 功, 合田 征司
隈部 俊二, 中塚美智子
松田 哲史, 田中 昭男
西川 哲成, 山中 武志
南部 隆之, 円山 由郷
大浦 清, 野崎 中成
大島 浩, 神 光一郎
土居 貴士, 上根 昌子
末瀬 一彦, 覚道 健治

山本 一世, 岩田 有弘
辻 則正, 稲本 雄之
梅田 誠, 木村 大輔
小正 裕, 柿本 和俊
高橋 一也, 中嶋 正博
伊達岡 聖, 田中 昌博
田中 順子, 鳥井 克典
藤井 孝政, 大河 貴久
向井 憲夫, 岡崎 定司
坂井 大吾, 西崎 宏
前田 武志, 小正 聡
森田 章介, 松本 和浩
松島 由紀, 松本 尚之
有馬 良幸, 清水谷公成
秋山 広徳, 蒲生 祥子
笹垣三宏, 有田 憲司
篠永ゆかり, 佐久間泰司
大久保 直, 澤井 宏文
磯谷 俊明, 米谷 裕之
辰巳 浩隆, 辻 一起子
馬場 俊輔, 新井 是宣
東山 朋代, 江原 杏子
山下 政代, 白本 鏡子
川原 幹夫, 中村 亜紀
渡邊 功, 林 正純
福井 和枝, 入江 隆子
福澤美智子, 中塚美智子
糸田 昌隆, 方 一如
王 宝禮, 高橋 恵美
石井 美和, 高田橋美幸
藤林由利安, 上野 美奈
南部 智子, 隅田 好美
森田婦美子, 木村 葉子
田村 照美, 筒井 睦
北垣 志麻, 前田留美子
今西麻友美, 後藤 晶
河内 博子

以上 H.27.4.1 付

|| 平成 28 年度 大学入学試験日程

| 区分 | 推薦入学試験 | 一般試入学験 | |
|--------|---|--|--|
| | | 前期日程 | 後期日程 |
| 募集人数 | 約 30 名 (指定校制推薦を含む) | 約 80 名 | 約 5 名 |
| 試験日 | 平成 27 年 11 月 28 日 (土) | 平成 28 年 1 月 30 日 (土) | 平成 28 年 3 月 5 日 (土) |
| 出願期間 | 平成 27 年 11 月 2 日 (月) ~ 平成 27 年 11 月 24 日 (火) | 平成 27 年 12 月 9 日 (水) ~ 平成 28 年 1 月 25 日 (月) | 平成 28 年 2 月 9 日 (火) ~ 平成 28 年 3 月 1 日 (火) |
| 合格発表日 | 平成 27 年 12 月 2 日 (水) 15:00 頃 | 平成 28 年 2 月 3 日 (水) 15:00 頃 | 平成 28 年 3 月 9 日 (水) 15:00 頃 |
| 試験会場 | 大阪歯科大学 楠葉学舎 | 大阪歯科大学 楠葉学舎、東京会場 (前期のみ)、福岡会場 (前期のみ) | |
| 入学手続期限 | 平成 27 年 12 月 11 日 (金) 正午 | 平成 28 年 2 月 15 日 (月) 正午 | 平成 28 年 3 月 22 日 (火) 正午 |

| 区分 | 大学入試センター試験利用入学試験 | | 編入学試験 | |
|--------|--|--|--|---|
| | 前期日程 | 後期日程 | 前期日程 | 後期日程 |
| 募集人数 | 10 名 | 3 名 | 若干名 | 若干名 |
| 試験日 | 平成 28 年 1 月 27 日 (水) | 平成 28 年 3 月 3 日 (木) | 平成 27 年 11 月 28 日 (土) | 平成 28 年 2 月 6 日 (土) |
| 出願期間 | 平成 27 年 12 月 9 日 (水) ~ 平成 28 年 1 月 25 日 (月) | 平成 28 年 2 月 9 日 (火) ~ 平成 28 年 3 月 1 日 (火) | 平成 27 年 10 月 23 日 (金) ~ 平成 27 年 11 月 24 日 (火) | 平成 28 年 1 月 4 日 (月) ~ 平成 28 年 1 月 29 日 (金) |
| 合格発表日 | 平成 28 年 2 月 3 日 (水) 15:00 頃 | 平成 28 年 3 月 9 日 (水) 15:00 頃 | 平成 27 年 12 月 2 日 (水) 15:00 頃 | 平成 28 年 2 月 10 日 (水) 15:00 頃 |
| 試験会場 | 大阪歯科大学 楠葉学舎 | | | |
| 入学手続期限 | 平成 28 年 2 月 15 日 (月) 正午 | 平成 28 年 3 月 22 日 (火) 正午 | 平成 27 年 12 月 11 日 (金) 正午 | 平成 28 年 2 月 17 日 (水) 正午 |

お問い合わせ先 〒 573-1121 大阪府枚方市楠葉花園町 8 番 1 号 大阪歯科大学 教務学生課 入試係
 TEL.072-864-3005 (直通) FAX.072-864-3008
 ホームページ URL <http://www.osaka-dent.ac.jp/contact>

|| あとがき

今春、大阪歯科大学のホームページがリニューアルしました。従来よりも見やすく、わかりやすいデザイン、設計を心がけて制作しました。今後も、ますますわかりやすく、使い勝手のよいホームページを目指していきます。ぜひともご意見・ご感想をお聞かせください。 大阪歯科大学ホームページ URL <http://www.osaka-dent.ac.jp/>



大阪歯科大学広報 第174号

2015.04.01 ~ 2015.06.30

発行日 平成27年9月30日
編集発行 大阪歯科大学広報委員会
〒573-1121
枚方市楠葉花園町8-1
TEL 072-864-3111
